

社会福祉学支援科目（社会福祉学関連科目）

科目名	医学一般A		担当教員	相馬 信
対象学年	W3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W21001
概要	[キーワード:] 社会福祉士に必要な人体の解剖・生理現象及び各疾患の理解。			
到達目標	老人に特有な疾患を理解する。			
授業の内容	1.人の成長・発達・老化について 2.身体の解剖・生理 3.心身の状態 4.生活習慣病 5.悪性腫瘍 6.脳血管疾患 7.糖尿病 8.心疾患、高血圧症など 9.呼吸器、消化器病		10.胃・泌尿器病 11.目・耳の病気 12.骨・関節疾患、とくに骨粗鬆症 13.感染症 14.神経疾患(DVD 供覧) 15.まとめ(テスト)	
評価方法	テストで60点以上合格			
教材・教科書	新・社会福祉士養成講座 I (中央法規)			
留意点	出席すること。教科書以外のことを50%くらい講義します。			

社会福祉学支援科目（社会福祉学関連科目）

科目名	医学一般B		担当教員	相馬 信
対象学年	W3年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード W21002
概要	[キーワード:] 社会福祉に必要な障害やリハビリ等の理解。			
到達目標	障害を理解し、認知症精神病を理解する。			
授業の内容	1.障害とは(その特徴を) 2.視・聴覚障害. 3.内部障害 4.肢体不自由・発達障害 5.知的障害 6.認知症(DVD 供覧) 7.精神障害 8.リハビリ 9.国際生活機能分類		10.衛生、人口統計 11.国民保健づくり対策 12.感染症対策(肺結核など) 13.健康の概念 14.臓器移植の問題点 15.まとめ(テスト)	
評価方法	テストで60点以上合格			
教材・教科書	新・社会福祉士養成講座 I (中央法規)			
留意点	出席すること。教科書以外の内容を50%くらい話します。			

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	臨床心理学A			担当教員	齋藤 繁																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	W21003																
概要	[キーワード: こころの問題、心理アセスメント、心理療法] 臨床心理学の基礎理論と方法について学び、臨床心理査定法や心理療法の実際について種々の事例によって理解を深める。さらに、福祉心理学的問題の理解と福祉臨床における臨床心理学的支援技術について学習する。																				
到達目標	臨床心理学の基礎をなす発達心理学や人格心理学などの理論を知り、心理査定法や心理療法の基本的な考え方や技術を学習する。関連して発達障害児(者)や高齢者の臨床心理学的支援についても学ぶ。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.臨床心理学の基本的理解</td> <td>9.人格理論Ⅰ:フロイト、ユング、アドラー</td> </tr> <tr> <td>2.臨床心理学の目的と方法</td> <td>10.人格理論Ⅱ:ロージャーズ、コフト、エリクソン</td> </tr> <tr> <td>3.臨床心理学の対象と領域</td> <td>11.適応の理論</td> </tr> <tr> <td>4.問題の分類と概説</td> <td>12.感性障害者と身体障害者の心理と支援</td> </tr> <tr> <td>5.様々な臨床事例</td> <td>13.知的障害者の心理学的理解と支援</td> </tr> <tr> <td>6.臨床心理学的支援の実際</td> <td>14.脳障害者の心理学的理解と支援</td> </tr> <tr> <td>7.発達理論Ⅰ:ゲゼル、シュテルン、マラー</td> <td>15.高齢者の心理学的理解と支援</td> </tr> <tr> <td>8.発達理論Ⅱ:ウィニコット、エリクソン</td> <td></td> </tr> </table>					1.臨床心理学の基本的理解	9.人格理論Ⅰ:フロイト、ユング、アドラー	2.臨床心理学の目的と方法	10.人格理論Ⅱ:ロージャーズ、コフト、エリクソン	3.臨床心理学の対象と領域	11.適応の理論	4.問題の分類と概説	12.感性障害者と身体障害者の心理と支援	5.様々な臨床事例	13.知的障害者の心理学的理解と支援	6.臨床心理学的支援の実際	14.脳障害者の心理学的理解と支援	7.発達理論Ⅰ:ゲゼル、シュテルン、マラー	15.高齢者の心理学的理解と支援	8.発達理論Ⅱ:ウィニコット、エリクソン	
1.臨床心理学の基本的理解	9.人格理論Ⅰ:フロイト、ユング、アドラー																				
2.臨床心理学の目的と方法	10.人格理論Ⅱ:ロージャーズ、コフト、エリクソン																				
3.臨床心理学の対象と領域	11.適応の理論																				
4.問題の分類と概説	12.感性障害者と身体障害者の心理と支援																				
5.様々な臨床事例	13.知的障害者の心理学的理解と支援																				
6.臨床心理学的支援の実際	14.脳障害者の心理学的理解と支援																				
7.発達理論Ⅰ:ゲゼル、シュテルン、マラー	15.高齢者の心理学的理解と支援																				
8.発達理論Ⅱ:ウィニコット、エリクソン																					
評価方法	出席20点、テスト80点とする。																				
教材・教科書	川瀬正裕他『心とかわる臨床心理—基礎・実際・方法— 第2版』ナカニシヤ出版																				
留意点	新聞・雑誌の社会面、テレビのニュースなどとの関連性を考えるようにしたい。																				

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	臨床心理学B			担当教員	齋藤 繁																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	W21004																
概要	[キーワード: こころの問題、心理アセスメント、心理療法] 臨床心理学の基礎理論と方法について学び、臨床心理査定法や心理療法の実際について種々の事例によって理解を深める。さらに、福祉心理学的問題の理解と福祉臨床における臨床心理学的支援技術について学習する。																				
到達目標	臨床心理学の基礎をなす発達心理学や人格心理学などの理論を知り、心理査定法や心理療法の基本的な考え方や技術を学習する。関連して発達障害児(者)や高齢者の臨床心理学的支援についても学ぶ。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.心理査定学について</td> <td>9.心理療法の歴史</td> </tr> <tr> <td>2.心理アセスメントの目的</td> <td>10.心理療法の理論</td> </tr> <tr> <td>3.心理アセスメントの理論</td> <td>11.心理療法の種類</td> </tr> <tr> <td>4.心理アセスメントの方法</td> <td>12.心理療法の基本的考え方</td> </tr> <tr> <td>5.情報の収集と整理</td> <td>13.心理療法の適応症</td> </tr> <tr> <td>6.心理検査の種類</td> <td>14.心理療法のプロセス</td> </tr> <tr> <td>7.検査の実施法と結果の解釈と査定</td> <td>15.心理療法の効果</td> </tr> <tr> <td>8.投影技法(ロールシャッハ、TAT、CATなど)</td> <td></td> </tr> </table>					1.心理査定学について	9.心理療法の歴史	2.心理アセスメントの目的	10.心理療法の理論	3.心理アセスメントの理論	11.心理療法の種類	4.心理アセスメントの方法	12.心理療法の基本的考え方	5.情報の収集と整理	13.心理療法の適応症	6.心理検査の種類	14.心理療法のプロセス	7.検査の実施法と結果の解釈と査定	15.心理療法の効果	8.投影技法(ロールシャッハ、TAT、CATなど)	
1.心理査定学について	9.心理療法の歴史																				
2.心理アセスメントの目的	10.心理療法の理論																				
3.心理アセスメントの理論	11.心理療法の種類																				
4.心理アセスメントの方法	12.心理療法の基本的考え方																				
5.情報の収集と整理	13.心理療法の適応症																				
6.心理検査の種類	14.心理療法のプロセス																				
7.検査の実施法と結果の解釈と査定	15.心理療法の効果																				
8.投影技法(ロールシャッハ、TAT、CATなど)																					
評価方法	出席20点、テスト80点とする。																				
教材・教科書	川瀬正裕他『心とかわる臨床心理—基礎・実際・方法— 第2版』ナカニシヤ出版																				
留意点	新聞・雑誌の社会面、テレビのニュースなどとの関連性を考えるようにしたい。																				

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	養護原理 A			担当教員	野口 伐名																
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	W21005																
概要	[キーワード:] 社会福祉士をめざす学生にとって、児童福祉施設の職員として児童福祉施設における社会福祉士の果たすべき役割、仕事の内容など、児童の暮らしの拠点としての施設養護の特質、基本原理などについて具体的実践的に学習する。																				
到達目標	社会的養護、特に施設養護を必要とする子どもの処遇(子どもとどう関わるか)に関して、児童養護の概念、施設における児童養護のあり方とその具体的な方法、児童擁護の精度と其の領域などについて学び、社会福祉士の資質について考え形成する。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.養護原理の福祉保育的意義(1)</td> <td>9. 養護原理の概念(1)</td> </tr> <tr> <td>2.養護原理と児童の養護</td> <td>10.家庭や社会の役割</td> </tr> <tr> <td>3.養護原理の福祉保育的意義(2)</td> <td>11.養護原理の概念(2) 社会的養護の必要性</td> </tr> <tr> <td>4.養護原理の福祉保育的意義(3)</td> <td>12.養護原理の概念(3) 児童養護の歴史(1)</td> </tr> <tr> <td>5.児童のニード</td> <td>13.養護原理の概念(4) 児童養護の歴史(2)</td> </tr> <tr> <td>6.養護原理の福祉保育的意義(4)</td> <td>14.養護原理の概念(5) 児童養護の歴史(3)</td> </tr> <tr> <td>7.養護原理の福祉保育的意義(5)</td> <td>15.課題とまとめと発表</td> </tr> <tr> <td>8.養護としての障害児教育</td> <td></td> </tr> </table>					1.養護原理の福祉保育的意義(1)	9. 養護原理の概念(1)	2.養護原理と児童の養護	10.家庭や社会の役割	3.養護原理の福祉保育的意義(2)	11.養護原理の概念(2) 社会的養護の必要性	4.養護原理の福祉保育的意義(3)	12.養護原理の概念(3) 児童養護の歴史(1)	5.児童のニード	13.養護原理の概念(4) 児童養護の歴史(2)	6.養護原理の福祉保育的意義(4)	14.養護原理の概念(5) 児童養護の歴史(3)	7.養護原理の福祉保育的意義(5)	15.課題とまとめと発表	8.養護としての障害児教育	
1.養護原理の福祉保育的意義(1)	9. 養護原理の概念(1)																				
2.養護原理と児童の養護	10.家庭や社会の役割																				
3.養護原理の福祉保育的意義(2)	11.養護原理の概念(2) 社会的養護の必要性																				
4.養護原理の福祉保育的意義(3)	12.養護原理の概念(3) 児童養護の歴史(1)																				
5.児童のニード	13.養護原理の概念(4) 児童養護の歴史(2)																				
6.養護原理の福祉保育的意義(4)	14.養護原理の概念(5) 児童養護の歴史(3)																				
7.養護原理の福祉保育的意義(5)	15.課題とまとめと発表																				
8.養護としての障害児教育																					
評価方法	試験・レポート(70点)、出席状況(30点)																				
教材・教科書	新・保育士養成講座編集委員会/編『新・保育士養成講座(第8巻)養護原理』(全国社会福祉協議会発行)																				
留意点	いつでも、子どもや家庭の問題、そして児童福祉施設の世界に興味や関心をもっていることが大切である。																				

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	養護原理 B			担当教員	野口 伐名																		
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	W21006																		
概要	[キーワード:] 社会福祉士をめざす学生にとって、児童福祉施設の職員として児童福祉施設における社会福祉士の果たすべき役割、仕事の内容など、児童の暮らしの拠点としての施設養護の特質、基本原理などについて具体的実践的に学習する。																						
到達目標	社会的養護、特に施設養護を必要とする子どもの処遇(子どもとどう関わるか)に関して、児童養護の概念、施設における児童養護のあり方とその具体的な方法、児童擁護の精度と其の領域などについて学び、社会福祉士の資質について考え形成する。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.施設の児童養護(1) 家庭の養育環境</td> <td>10.児童擁護の制度(3) 養育環境に問題がある児童の施設・事業</td> </tr> <tr> <td>2.施設の児童養護(2) 非行・問題行動</td> <td>11.児童擁護の制度(4) 心身に障害がある児童の施設・事業</td> </tr> <tr> <td>3.施設の児童養護(3) 心身の障害(1)</td> <td>12.児童擁護の制度(4) 心身に障害がある児童の施設・事業</td> </tr> <tr> <td>4.施設の児童養護(4) 心身の障害(2)</td> <td>13.児童擁護の制度(5) 情緒面に問題がある児童の施設</td> </tr> <tr> <td>5.児童擁護の制度(1) 児童の健全育成</td> <td>14.児童擁護の制度(5) 情緒面に問題がある児童の施設</td> </tr> <tr> <td>6.児童擁護のための施設・事業(1)</td> <td>15.課題とまとめと発表</td> </tr> <tr> <td>7.児童擁護の制度(2) 児童の健全育成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8.児童擁護のための施設・事業(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9.児童擁護の制度(3) 養育環境に問題がある児童の施設・事業</td> <td></td> </tr> </table>					1.施設の児童養護(1) 家庭の養育環境	10.児童擁護の制度(3) 養育環境に問題がある児童の施設・事業	2.施設の児童養護(2) 非行・問題行動	11.児童擁護の制度(4) 心身に障害がある児童の施設・事業	3.施設の児童養護(3) 心身の障害(1)	12.児童擁護の制度(4) 心身に障害がある児童の施設・事業	4.施設の児童養護(4) 心身の障害(2)	13.児童擁護の制度(5) 情緒面に問題がある児童の施設	5.児童擁護の制度(1) 児童の健全育成	14.児童擁護の制度(5) 情緒面に問題がある児童の施設	6.児童擁護のための施設・事業(1)	15.課題とまとめと発表	7.児童擁護の制度(2) 児童の健全育成		8.児童擁護のための施設・事業(2)		9.児童擁護の制度(3) 養育環境に問題がある児童の施設・事業	
1.施設の児童養護(1) 家庭の養育環境	10.児童擁護の制度(3) 養育環境に問題がある児童の施設・事業																						
2.施設の児童養護(2) 非行・問題行動	11.児童擁護の制度(4) 心身に障害がある児童の施設・事業																						
3.施設の児童養護(3) 心身の障害(1)	12.児童擁護の制度(4) 心身に障害がある児童の施設・事業																						
4.施設の児童養護(4) 心身の障害(2)	13.児童擁護の制度(5) 情緒面に問題がある児童の施設																						
5.児童擁護の制度(1) 児童の健全育成	14.児童擁護の制度(5) 情緒面に問題がある児童の施設																						
6.児童擁護のための施設・事業(1)	15.課題とまとめと発表																						
7.児童擁護の制度(2) 児童の健全育成																							
8.児童擁護のための施設・事業(2)																							
9.児童擁護の制度(3) 養育環境に問題がある児童の施設・事業																							
評価方法	試験・レポート(70点)、出席状況(30点)																						
教材・教科書	新・保育士養成講座編集委員会/編『新・保育士養成講座(第8巻)養護原理』(全国社会福祉協議会発行)																						
留意点	いつでも、子どもや家庭の問題、そして児童福祉施設の世界に興味や関心をもっていることが大切である。																						

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	日本国憲法 A		担当教員	大野 拓哉																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W21007																
概要	[キーワード: 憲法 基本的人権] 日本国憲法が保障する基本的人権を学ぶ。まず、人権に関する基礎理論を概観し、その後、各個別の人権について、その沿革や内容、裁判事例などをとりあげて理解を深める。																			
到達目標	日本国憲法が近代以降の立憲政治の到達点であることを踏まえ、その人権諸条項がこれまで果たしてきた役割を理解するとともに、現代的な諸問題にどのように対応していけるか(いくべきか)の理解も形成してゆきたい。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 基本的人権の観念</td> <td>9. 幸福追求権の諸相</td> </tr> <tr> <td>2. 基本的人権思想の歴史的展開①</td> <td>10. 法の下での平等</td> </tr> <tr> <td>3. 基本的人権思想の歴史的展開②</td> <td>11. 家族生活と平等</td> </tr> <tr> <td>4. 基本的人権の享有主体</td> <td>12. 雇用関係と平等</td> </tr> <tr> <td>5. 基本的人権の私人間効力</td> <td>13. 思想および良心の自由</td> </tr> <tr> <td>6. 特別の法律関係における基本的人権</td> <td>14. 信教の自由と政教分離</td> </tr> <tr> <td>7. 基本的人権の限界と制約</td> <td>15. まとめと振り返り</td> </tr> <tr> <td>8. 個人の尊重と幸福追求権</td> <td></td> </tr> </table>				1. 基本的人権の観念	9. 幸福追求権の諸相	2. 基本的人権思想の歴史的展開①	10. 法の下での平等	3. 基本的人権思想の歴史的展開②	11. 家族生活と平等	4. 基本的人権の享有主体	12. 雇用関係と平等	5. 基本的人権の私人間効力	13. 思想および良心の自由	6. 特別の法律関係における基本的人権	14. 信教の自由と政教分離	7. 基本的人権の限界と制約	15. まとめと振り返り	8. 個人の尊重と幸福追求権	
1. 基本的人権の観念	9. 幸福追求権の諸相																			
2. 基本的人権思想の歴史的展開①	10. 法の下での平等																			
3. 基本的人権思想の歴史的展開②	11. 家族生活と平等																			
4. 基本的人権の享有主体	12. 雇用関係と平等																			
5. 基本的人権の私人間効力	13. 思想および良心の自由																			
6. 特別の法律関係における基本的人権	14. 信教の自由と政教分離																			
7. 基本的人権の限界と制約	15. まとめと振り返り																			
8. 個人の尊重と幸福追求権																				
評価方法	前期試験のみ																			
教材・教科書	特に指定しない。講義に際して適宜プリントを配布する。																			
留意点	日本国憲法の条文を随時参照できるようにしておくこと。																			

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	日本国憲法 B		担当教員	大野 拓哉																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード W21008																
概要	[キーワード: 憲法 基本的人権] 日本国憲法 I に引き続いて、日本国憲法が保障する基本的人権を学ぶ。基本的人権の基礎理論については日本国憲法 I で学んでいるので、そのことを前提にして、各個別の人権に関する理解を深める。																			
到達目標	日本国憲法が近代以降の立憲政治の到達点であることを踏まえ、その人権諸条項がこれまで果たしてきた役割を理解するとともに、現代的な諸問題にどのように対応していけるか(いくべきか)の理解も形成してゆきたい。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 学問の自由</td> <td>9. 労働基本権②</td> </tr> <tr> <td>2. 表現の自由①</td> <td>10. 経済的自由権の歴史的変遷</td> </tr> <tr> <td>3. 表現の自由②</td> <td>11. 財産権の保障と私有財産制度</td> </tr> <tr> <td>4. 自由権と社会権</td> <td>12. 職業選択の自由と「営業の自由」</td> </tr> <tr> <td>5. 生存権①</td> <td>13. 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由</td> </tr> <tr> <td>6. 生存権②</td> <td>14. 基本的人権を保障する諸制度</td> </tr> <tr> <td>7. 教育を受ける権利</td> <td>15. まとめと振り返り</td> </tr> <tr> <td>8. 労働基本権①</td> <td></td> </tr> </table>				1. 学問の自由	9. 労働基本権②	2. 表現の自由①	10. 経済的自由権の歴史的変遷	3. 表現の自由②	11. 財産権の保障と私有財産制度	4. 自由権と社会権	12. 職業選択の自由と「営業の自由」	5. 生存権①	13. 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由	6. 生存権②	14. 基本的人権を保障する諸制度	7. 教育を受ける権利	15. まとめと振り返り	8. 労働基本権①	
1. 学問の自由	9. 労働基本権②																			
2. 表現の自由①	10. 経済的自由権の歴史的変遷																			
3. 表現の自由②	11. 財産権の保障と私有財産制度																			
4. 自由権と社会権	12. 職業選択の自由と「営業の自由」																			
5. 生存権①	13. 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由																			
6. 生存権②	14. 基本的人権を保障する諸制度																			
7. 教育を受ける権利	15. まとめと振り返り																			
8. 労働基本権①																				
評価方法	後期試験のみ																			
教材・教科書	特に指定しない。講義に際して適宜プリントを配布する。																			
留意点	日本国憲法の条文を随時参照できるようにしておくこと。																			

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	レクリエーション支援法		担当教員	棟方達也																
対象学年	W3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W21009																
概要	[キーワード: レクリエーション運営 組織] レクリエーション活動の組織的運営について、現場視察及び実体験を通して学びます。																			
到達目標	レクリエーション活動の組織的運営の体験と報告																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.ガイダンス</td> <td>9.視察・体験対象リサーチ</td> </tr> <tr> <td>2.基礎理論1</td> <td>10.視察・体験計画</td> </tr> <tr> <td>3.基礎理論2</td> <td>11.現場視察(参加、実体験)</td> </tr> <tr> <td>4.基礎理論3</td> <td>12.現場視察(参加、実体験)</td> </tr> <tr> <td>5.レクリエーションの多様性1</td> <td>13.現場視察(参加、実体験)</td> </tr> <tr> <td>6.レクリエーションの多様性2</td> <td>14.報告</td> </tr> <tr> <td>7.レクリエーションの多様性3</td> <td>15.まとめ</td> </tr> <tr> <td>8.視察・体験対象リサーチ</td> <td></td> </tr> </table>				1.ガイダンス	9.視察・体験対象リサーチ	2.基礎理論1	10.視察・体験計画	3.基礎理論2	11.現場視察(参加、実体験)	4.基礎理論3	12.現場視察(参加、実体験)	5.レクリエーションの多様性1	13.現場視察(参加、実体験)	6.レクリエーションの多様性2	14.報告	7.レクリエーションの多様性3	15.まとめ	8.視察・体験対象リサーチ	
1.ガイダンス	9.視察・体験対象リサーチ																			
2.基礎理論1	10.視察・体験計画																			
3.基礎理論2	11.現場視察(参加、実体験)																			
4.基礎理論3	12.現場視察(参加、実体験)																			
5.レクリエーションの多様性1	13.現場視察(参加、実体験)																			
6.レクリエーションの多様性2	14.報告																			
7.レクリエーションの多様性3	15.まとめ																			
8.視察・体験対象リサーチ																				
評価方法	レポート:100点																			
教材・教科書																				
留意点	現場視察経費、参加料等実費は各自負担																			

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	保健医療福祉のためのコミュニケーション論		担当教員	吉岡・井上・今村・ 工藤千・葛西・高橋																				
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W21010																				
概要	[キーワード: 方言主流社会、生活者、共生]オムニバス形式で行う。本学において唯一、三つの学部の教員が共同体制で行う講義である。青森県津軽地域のような「方言主流社会」において、「方言ネイティブ」と他地域出身者(非ネイティブ)が、生活の現場においてどのように共生していけるかを考える。また「ことば」の違いを手がかりとして高齢者と若者との間の違いを理解する。																							
到達目標	方言主流社会における生活者を、どのように支援して行くか、そのための理論と方法を学び、実践に応用できるレベルに達することを目標とする。																							
授業の内容	<p>《日程・内容は変更することがあります。》</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 導入および総論</td> <td>11. (医療・看護2) 吉岡「津軽弁、南部弁の中の病気と症状」</td> </tr> <tr> <td>2. (言語1) 今村1. 方言概説</td> <td>12. (文学1) 井上 「津軽弁の考え方-1 ; 沈黙--葛西善蔵・太宰治」</td> </tr> <tr> <td>3. (言語2) 今村2. 津軽方言概説</td> <td>13. (文学2) 井上 「津軽弁の考え方-2 ; 饒舌--寺山修司・ナンシー関」</td> </tr> <tr> <td>4. (言語3) 今村3. 「先行研究から」</td> <td>14. (文学3) 井上 「津軽弁の考え方3 ; 記憶--川上健一」</td> </tr> <tr> <td>5. (言語4) 今村4. 「津軽の問題」</td> <td>15.総括および講義評価(今村)</td> </tr> <tr> <td>6. (言語5) 今村5. 「保健医療福祉と方言-コミュニケーションツールとして-」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. (言語6) 今村6 「保健医療福祉と方言-よりよく生きるために-」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. (社会福祉1) 葛西「方言と暮らし1」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. (社会福祉2) 高橋「方言と暮らし2」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10. (医療・看護1) 工藤「方言の理解から始まる生活支援」</td> <td></td> </tr> </table>				1. 導入および総論	11. (医療・看護2) 吉岡「津軽弁、南部弁の中の病気と症状」	2. (言語1) 今村1. 方言概説	12. (文学1) 井上 「津軽弁の考え方-1 ; 沈黙--葛西善蔵・太宰治」	3. (言語2) 今村2. 津軽方言概説	13. (文学2) 井上 「津軽弁の考え方-2 ; 饒舌--寺山修司・ナンシー関」	4. (言語3) 今村3. 「先行研究から」	14. (文学3) 井上 「津軽弁の考え方3 ; 記憶--川上健一」	5. (言語4) 今村4. 「津軽の問題」	15.総括および講義評価(今村)	6. (言語5) 今村5. 「保健医療福祉と方言-コミュニケーションツールとして-」		7. (言語6) 今村6 「保健医療福祉と方言-よりよく生きるために-」		8. (社会福祉1) 葛西「方言と暮らし1」		9. (社会福祉2) 高橋「方言と暮らし2」		10. (医療・看護1) 工藤「方言の理解から始まる生活支援」	
1. 導入および総論	11. (医療・看護2) 吉岡「津軽弁、南部弁の中の病気と症状」																							
2. (言語1) 今村1. 方言概説	12. (文学1) 井上 「津軽弁の考え方-1 ; 沈黙--葛西善蔵・太宰治」																							
3. (言語2) 今村2. 津軽方言概説	13. (文学2) 井上 「津軽弁の考え方-2 ; 饒舌--寺山修司・ナンシー関」																							
4. (言語3) 今村3. 「先行研究から」	14. (文学3) 井上 「津軽弁の考え方3 ; 記憶--川上健一」																							
5. (言語4) 今村4. 「津軽の問題」	15.総括および講義評価(今村)																							
6. (言語5) 今村5. 「保健医療福祉と方言-コミュニケーションツールとして-」																								
7. (言語6) 今村6 「保健医療福祉と方言-よりよく生きるために-」																								
8. (社会福祉1) 葛西「方言と暮らし1」																								
9. (社会福祉2) 高橋「方言と暮らし2」																								
10. (医療・看護1) 工藤「方言の理解から始まる生活支援」																								
評価方法	担当教員ごとに試験またはレポートまたは出席により評価し、回数に比例して重み付けしたうえで合算する。																							
教材・教科書	初回の講義時、また各教員の担当時にそれぞれ指示する。																							
留意点																								

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	社会政策論			担当教員	松本悦子																
対象学年	W3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	W21013																
概要	[キーワード: 社会、労働、生活] 社会政策は、資本主義経済の発展に伴い、様々な社会問題が顕在化したことで成立してきた。近年では格差や貧困の深刻化、非正規雇用の増加などが注目を集め、社会政策を取り巻く状況は大きな変化が生じている。本講義では具体的な社会問題を取り上げながら、日常生活と深く関わる社会政策について体系的に学ぶ。																				
到達目標	1. 社会政策に関する基礎知識を学び、日本社会の現状について理解を深める 2. 現代社会の課題について具体的に考える力を身につける																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス (社会政策とは何か)</td> <td>9. 男女平等政策と現代社会</td> </tr> <tr> <td>2. 社会政策と日本社会の現状</td> <td>10. 貧困と社会的排除</td> </tr> <tr> <td>3. 社会政策の歴史的展開</td> <td>11. 高齢社会と社会政策</td> </tr> <tr> <td>4. 賃金と社会政策</td> <td>12. 現代社会と労使関係</td> </tr> <tr> <td>5. 労働時間と生活</td> <td>13. 家族の変容と社会政策</td> </tr> <tr> <td>6. 雇用・失業と社会政策</td> <td>14. グローバル化と「外国人労働者」</td> </tr> <tr> <td>7. 生活と保障①</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 生活と保障②</td> <td>*順番は必要に応じて入れ替わることがあります</td> </tr> </table>					1. ガイダンス (社会政策とは何か)	9. 男女平等政策と現代社会	2. 社会政策と日本社会の現状	10. 貧困と社会的排除	3. 社会政策の歴史的展開	11. 高齢社会と社会政策	4. 賃金と社会政策	12. 現代社会と労使関係	5. 労働時間と生活	13. 家族の変容と社会政策	6. 雇用・失業と社会政策	14. グローバル化と「外国人労働者」	7. 生活と保障①	15. まとめ	8. 生活と保障②	*順番は必要に応じて入れ替わることがあります
1. ガイダンス (社会政策とは何か)	9. 男女平等政策と現代社会																				
2. 社会政策と日本社会の現状	10. 貧困と社会的排除																				
3. 社会政策の歴史的展開	11. 高齢社会と社会政策																				
4. 賃金と社会政策	12. 現代社会と労使関係																				
5. 労働時間と生活	13. 家族の変容と社会政策																				
6. 雇用・失業と社会政策	14. グローバル化と「外国人労働者」																				
7. 生活と保障①	15. まとめ																				
8. 生活と保障②	*順番は必要に応じて入れ替わることがあります																				
評価方法	出席30点、試験70点																				
教材・教科書	必要に応じて資料を配付する																				
留意点	出席を重視します																				

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	雇用政策論			担当教員																			
対象学年	W3年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	W21014																		
概要	[キーワード: 労働環境、障害者、低所得者、就労支援、] ●現代の労働環境を、全体的に理解する。 ●障害者、低所得者の就労支援のあり方を、下記教科書と事例から学ぶ。																						
到達目標	障害者、低所得者がおかれている労働環境を理解し、就労支援に係る社会資源を活用して有効な就労支援を行う力を養う。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>10. 低所得者の就労支援②</td> </tr> <tr> <td>2. 現代の労働問題</td> <td>11. 低所得者の就労支援③</td> </tr> <tr> <td>3. 労働に関する法律と制度①</td> <td>12. 就労支援に関する組織団体の役割</td> </tr> <tr> <td>4. 労働に関する法律と制度②</td> <td>13. 連携とネットワーク</td> </tr> <tr> <td>5. 障害者の就労支援①</td> <td>14. 就労支援の実際</td> </tr> <tr> <td>6. 障害者の就労支援②</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 障害者の就労支援③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 障害者の就労支援④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 低所得者の就労支援①</td> <td></td> </tr> </table>					1. オリエンテーション	10. 低所得者の就労支援②	2. 現代の労働問題	11. 低所得者の就労支援③	3. 労働に関する法律と制度①	12. 就労支援に関する組織団体の役割	4. 労働に関する法律と制度②	13. 連携とネットワーク	5. 障害者の就労支援①	14. 就労支援の実際	6. 障害者の就労支援②	15. まとめ	7. 障害者の就労支援③		8. 障害者の就労支援④		9. 低所得者の就労支援①	
1. オリエンテーション	10. 低所得者の就労支援②																						
2. 現代の労働問題	11. 低所得者の就労支援③																						
3. 労働に関する法律と制度①	12. 就労支援に関する組織団体の役割																						
4. 労働に関する法律と制度②	13. 連携とネットワーク																						
5. 障害者の就労支援①	14. 就労支援の実際																						
6. 障害者の就労支援②	15. まとめ																						
7. 障害者の就労支援③																							
8. 障害者の就労支援④																							
9. 低所得者の就労支援①																							
評価方法	出席(50点)、テスト(50点)																						
教材・教科書	『新・社会福祉士養成講座 就労支援サービス 第3版』 2013年 中央法規出版																						
留意点																							

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	行政法A		担当教員	堀内健志																		
対象学年	W3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W21015																		
概要	[キーワード:「法律による行政の原理」「法の支配」]																					
到達目標	行政法を初めて学ぶ人達を対象に、基礎知識をしっかりと理解できるようにする。また、行政法、行政概念の体系的説明や重点的論点の検討を行う。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>10. 「行政」概念</td> </tr> <tr> <td>2. 行政法の基礎理論、「行政法」の性格</td> <td>11. 「法律による行政の原理」とその現代国家的変容</td> </tr> <tr> <td>3. 「行政法」の構造</td> <td>12. 「法律による行政の原理」とその現代国家的変容</td> </tr> <tr> <td>4. 「行政法」の基本的諸問題</td> <td>13. 「公法と私法」</td> </tr> <tr> <td>5. 「行政法」の基本的諸問題</td> <td>14. 「行政法源」</td> </tr> <tr> <td>6. 「行政法」の基本的諸問題</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 「行政法」の基本的諸問題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 「行政」概念</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 「行政」概念</td> <td></td> </tr> </table>				1. ガイダンス	10. 「行政」概念	2. 行政法の基礎理論、「行政法」の性格	11. 「法律による行政の原理」とその現代国家的変容	3. 「行政法」の構造	12. 「法律による行政の原理」とその現代国家的変容	4. 「行政法」の基本的諸問題	13. 「公法と私法」	5. 「行政法」の基本的諸問題	14. 「行政法源」	6. 「行政法」の基本的諸問題	15. まとめ	7. 「行政法」の基本的諸問題		8. 「行政」概念		9. 「行政」概念	
1. ガイダンス	10. 「行政」概念																					
2. 行政法の基礎理論、「行政法」の性格	11. 「法律による行政の原理」とその現代国家的変容																					
3. 「行政法」の構造	12. 「法律による行政の原理」とその現代国家的変容																					
4. 「行政法」の基本的諸問題	13. 「公法と私法」																					
5. 「行政法」の基本的諸問題	14. 「行政法源」																					
6. 「行政法」の基本的諸問題	15. まとめ																					
7. 「行政法」の基本的諸問題																						
8. 「行政」概念																						
9. 「行政」概念																						
評価方法	ペーパー試験 80 パーセント、出席点 20 パーセントとして評価する。																					
教材・教科書	教科書:堀内健志『公法2 新版行政法』(信山社、2005年) ポケット六法(有斐閣)																					
留意点	講義に出席して、最新の内容を聞いてほしい。																					

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	行政法B		担当教員	堀内健志																		
対象学年	W3年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード W21016																		
概要	[キーワード:「地方自治・分権」「改正行政事件訴訟法」「行政手続法」「情報公開法」]																					
到達目標	公務員試験や資格試験などに十分対応できるように配慮したい。行政組織法、公務員法、行政過程法、行政作用法などについて体系的に展開する。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 内部行政法</td> <td>10. 「行政救済法外観」「行政争訟」</td> </tr> <tr> <td>2. 「行政法」規範の分類</td> <td>11. 「国家補償」</td> </tr> <tr> <td>3. 「行政組織法」</td> <td>12. 「行政手続法」(情報公開法、個人情報保護法を含む)</td> </tr> <tr> <td>4. 「国の組織」</td> <td>13. 「行政作用法」「行政立法」</td> </tr> <tr> <td>5. 「地方自治・分権」</td> <td>14. 「行政行為」「行政指導」など</td> </tr> <tr> <td>6. 「行政機関」</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 「公務員法」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 外部行政法、個人的公権</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 「行政過程法」</td> <td></td> </tr> </table>				1. 内部行政法	10. 「行政救済法外観」「行政争訟」	2. 「行政法」規範の分類	11. 「国家補償」	3. 「行政組織法」	12. 「行政手続法」(情報公開法、個人情報保護法を含む)	4. 「国の組織」	13. 「行政作用法」「行政立法」	5. 「地方自治・分権」	14. 「行政行為」「行政指導」など	6. 「行政機関」	15. まとめ	7. 「公務員法」		8. 外部行政法、個人的公権		9. 「行政過程法」	
1. 内部行政法	10. 「行政救済法外観」「行政争訟」																					
2. 「行政法」規範の分類	11. 「国家補償」																					
3. 「行政組織法」	12. 「行政手続法」(情報公開法、個人情報保護法を含む)																					
4. 「国の組織」	13. 「行政作用法」「行政立法」																					
5. 「地方自治・分権」	14. 「行政行為」「行政指導」など																					
6. 「行政機関」	15. まとめ																					
7. 「公務員法」																						
8. 外部行政法、個人的公権																						
9. 「行政過程法」																						
評価方法	ペーパー試験 80 パーセント、出席点 20 パーセントとして評価する。																					
教材・教科書	教科書:堀内健志『公法2 新版行政法』(信山社、2005年) ポケット六法(有斐閣)																					
留意点	講義に出席して、最新の内容を聞いてほしい。																					

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	民法総論		担当教員	小宅大典																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W21017																
概要	[キーワード:民法の基礎をケースを通じて学ぶ] 民法は総則と財産法、家族法の3分野から構成されており、市民生活、家族生活にとって基本となる大法典である。社会福祉に進む学生にとって欠くことの出来ない法律をケースに則して学ぶ。																			
到達目標	民法は条文が1044条という最も長い法律なので、その中から社会福祉に特別関係が深い条文を取り上げて、学生が社会に出た時に役立ち、機能するように、わかりやすく学習する。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.民法の全体像 他の法律との関係</td> <td>9.親族法とは</td> </tr> <tr> <td>2.人の4つの能力(権利、意思、行為、責任)</td> <td>10.婚姻、離婚、親権、実子、養子</td> </tr> <tr> <td>3.動産と不動産</td> <td>11.相続法とは</td> </tr> <tr> <td>4.物権とは</td> <td>12.相続分と遺産分割</td> </tr> <tr> <td>5.占有権、所有権、用益物権等</td> <td>13.相続の承認、放棄、遺留分</td> </tr> <tr> <td>6.債権とは</td> <td>14.自筆証明書遺言と公正証書遺言</td> </tr> <tr> <td>7.契約の成立、種類、責任、有効性</td> <td>15.まとめ</td> </tr> <tr> <td>8.人的担保と物的担保、履行確保</td> <td></td> </tr> </table>				1.民法の全体像 他の法律との関係	9.親族法とは	2.人の4つの能力(権利、意思、行為、責任)	10.婚姻、離婚、親権、実子、養子	3.動産と不動産	11.相続法とは	4.物権とは	12.相続分と遺産分割	5.占有権、所有権、用益物権等	13.相続の承認、放棄、遺留分	6.債権とは	14.自筆証明書遺言と公正証書遺言	7.契約の成立、種類、責任、有効性	15.まとめ	8.人的担保と物的担保、履行確保	
1.民法の全体像 他の法律との関係	9.親族法とは																			
2.人の4つの能力(権利、意思、行為、責任)	10.婚姻、離婚、親権、実子、養子																			
3.動産と不動産	11.相続法とは																			
4.物権とは	12.相続分と遺産分割																			
5.占有権、所有権、用益物権等	13.相続の承認、放棄、遺留分																			
6.債権とは	14.自筆証明書遺言と公正証書遺言																			
7.契約の成立、種類、責任、有効性	15.まとめ																			
8.人的担保と物的担保、履行確保																				
評価方法	出席点20点、試験80点(論文体テストと客観テストの双方を組み合わせる)																			
教材・教科書	「新・社会福祉士養成講座 権利擁護と成年後見制度」中央法規出版 (この本の中にある「民法の理解」を中心に講義し、足りないところはプリントを配布する)																			
留意点	民法総論を学んだものは、密接に関係性のある権利擁護論を出来るだけ履修してもらいたい。国家試験を受けるものは是非履修してもらいたい。																			

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	権利擁護論		担当教員	小宅大典																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード W21018																
概要	[キーワード:権利擁護の制度と現状の検討] 新しい成年後見制度が充足して13年が経過し、同じ頃日常生活自立支援事業もスタートしたが、この二つの制度は、高齢社会の権利擁護という観点からすると、無くてはならないものである。この制度の現状を学ぶ。																			
到達目標	この二つの制度の学習は、精神保健福祉士、社会福祉士を目指すものにとって不可欠な勉強である。その法律の現状を出来るだけケースを通じて具体的に学習する。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.成年後見の歴史と概要</td> <td>9.社会福祉協議会の役割</td> </tr> <tr> <td>2.保佐、補助の概要</td> <td>10.弁護士・司法書士の役割</td> </tr> <tr> <td>3.申立ての流れ</td> <td>11.公証人・医師の役割</td> </tr> <tr> <td>4.任意後見制度</td> <td>12.社会福祉士の活動の実際</td> </tr> <tr> <td>5.親権と未成年後見</td> <td>13.高齢者・児童虐待防止法等</td> </tr> <tr> <td>6.日常生活自立支援事業</td> <td>14.将来の展望・全体通じての話合い</td> </tr> <tr> <td>7.家庭裁判所、児童相談所の役割</td> <td>15.まとめ</td> </tr> <tr> <td>8.法務局、市町村の役割</td> <td></td> </tr> </table>				1.成年後見の歴史と概要	9.社会福祉協議会の役割	2.保佐、補助の概要	10.弁護士・司法書士の役割	3.申立ての流れ	11.公証人・医師の役割	4.任意後見制度	12.社会福祉士の活動の実際	5.親権と未成年後見	13.高齢者・児童虐待防止法等	6.日常生活自立支援事業	14.将来の展望・全体通じての話合い	7.家庭裁判所、児童相談所の役割	15.まとめ	8.法務局、市町村の役割	
1.成年後見の歴史と概要	9.社会福祉協議会の役割																			
2.保佐、補助の概要	10.弁護士・司法書士の役割																			
3.申立ての流れ	11.公証人・医師の役割																			
4.任意後見制度	12.社会福祉士の活動の実際																			
5.親権と未成年後見	13.高齢者・児童虐待防止法等																			
6.日常生活自立支援事業	14.将来の展望・全体通じての話合い																			
7.家庭裁判所、児童相談所の役割	15.まとめ																			
8.法務局、市町村の役割																				
評価方法	出席点20点、試験80点(論文体テストと客観テストの双方を組み合わせる)																			
教材・教科書	民法総論と同じテキスト 「新・社会福祉士養成講座 権利擁護と成年後見制度」中央法規出版 (必要に応じてプリントも配布する)																			
留意点	成年後見制度と日常生活自立支援事業は民法総論と密接に関連があり、国家試験を受けるものは是非履修してもらいたい。																			

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	社会福祉学特講Ⅰ			担当教員	大野拓哉																
対象学年	W3年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	W21019																
概要	[キーワード: 社会福祉法, 社会福祉基礎構造] 社会福祉関係法令の要たる社会福祉法の逐条解釈を通じて同法の内容を深く理解するとともに、多岐にわたる社会福祉関係法令の理解の礎を築くことを目指す。																				
到達目標	法令に関する理解を深め、社会福祉の実践や制度理解の基礎となる力を体得する。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 社会福祉と法令の考え方①</td> <td>9. 社会福祉法人②</td> </tr> <tr> <td>2. 社会福祉と法令の考え方②</td> <td>10. 社会福祉事業</td> </tr> <tr> <td>3. 社会福祉基礎構造とは何か</td> <td>11. 福祉サービスの適切な利用</td> </tr> <tr> <td>4. 社会福祉事業の範囲と分類</td> <td>12. 社会福祉事業従事者の確保の促進</td> </tr> <tr> <td>5. 福祉サービスの基本理念</td> <td>13. 地域福祉の推進①</td> </tr> <tr> <td>6. 福祉事務所とその働き①</td> <td>14. 地域福祉の推進②</td> </tr> <tr> <td>7. 福祉事務所とその働き②</td> <td>15. まとめと振り返り</td> </tr> <tr> <td>8. 社会福祉法人①</td> <td></td> </tr> </table>					1. 社会福祉と法令の考え方①	9. 社会福祉法人②	2. 社会福祉と法令の考え方②	10. 社会福祉事業	3. 社会福祉基礎構造とは何か	11. 福祉サービスの適切な利用	4. 社会福祉事業の範囲と分類	12. 社会福祉事業従事者の確保の促進	5. 福祉サービスの基本理念	13. 地域福祉の推進①	6. 福祉事務所とその働き①	14. 地域福祉の推進②	7. 福祉事務所とその働き②	15. まとめと振り返り	8. 社会福祉法人①	
1. 社会福祉と法令の考え方①	9. 社会福祉法人②																				
2. 社会福祉と法令の考え方②	10. 社会福祉事業																				
3. 社会福祉基礎構造とは何か	11. 福祉サービスの適切な利用																				
4. 社会福祉事業の範囲と分類	12. 社会福祉事業従事者の確保の促進																				
5. 福祉サービスの基本理念	13. 地域福祉の推進①																				
6. 福祉事務所とその働き①	14. 地域福祉の推進②																				
7. 福祉事務所とその働き②	15. まとめと振り返り																				
8. 社会福祉法人①																					
評価方法	試験のみ(論文式ではなく、客観テストの形式で実施する。)																				
教材・教科書	西村健一郎・品田充儀編著『よくわかる社会福祉と法』ミネルヴァ書房																				
留意点	条文等を参照するために、社会福祉六法の類を常に持参すること。																				

社会福祉学支援科目(社会福祉学関連科目)

科目名	社会福祉学特講Ⅱ			担当教員	大野拓哉																
対象学年	W4年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	W21020																
概要	[キーワード: 社会福祉関係法令] 社会福祉特講Ⅰで形成された社会福祉法の理解を踏まえ、同法以外の諸法令の理解を深める。																				
到達目標	法令に関する理解を深め、社会福祉の実践や制度理解の基礎となる力を体得する。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 生活保護法①</td> <td>9. 老人福祉法②</td> </tr> <tr> <td>2. 生活保護法②</td> <td>10. 介護保険法①</td> </tr> <tr> <td>3. 児童福祉法①</td> <td>11. 介護保険法②</td> </tr> <tr> <td>4. 児童福祉法②</td> <td>12. その他の法令①</td> </tr> <tr> <td>5. 障害者関係法令①</td> <td>13. その他の法令②</td> </tr> <tr> <td>6. 障害者関係法令②</td> <td>14. その他の法令③</td> </tr> <tr> <td>7. 障害者関係法令③</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 老人福祉法①</td> <td></td> </tr> </table>					1. 生活保護法①	9. 老人福祉法②	2. 生活保護法②	10. 介護保険法①	3. 児童福祉法①	11. 介護保険法②	4. 児童福祉法②	12. その他の法令①	5. 障害者関係法令①	13. その他の法令②	6. 障害者関係法令②	14. その他の法令③	7. 障害者関係法令③	15. まとめ	8. 老人福祉法①	
1. 生活保護法①	9. 老人福祉法②																				
2. 生活保護法②	10. 介護保険法①																				
3. 児童福祉法①	11. 介護保険法②																				
4. 児童福祉法②	12. その他の法令①																				
5. 障害者関係法令①	13. その他の法令②																				
6. 障害者関係法令②	14. その他の法令③																				
7. 障害者関係法令③	15. まとめ																				
8. 老人福祉法①																					
評価方法	試験のみ(論文式ではなく、客観テストの形式で実施する。)																				
教材・教科書	西村健一郎・品田充儀編著『よくわかる社会福祉と法』ミネルヴァ書房																				
留意点	条文等を参照するために、社会福祉六法の類を常に持参すること。																				

社会福祉学支援科目（社会科学系列科目）

科目名	政治学(国際政治を含む)A		担当教員	西 東 克 介																
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W22001																
概要	<p>[キーワード: 政治、権力、権威、宗教、カリスマ、民主主義]</p> <p>今日、社会全体がどちらかといえば政治に無関心な状況が蔓延しています。そこで、この講義のねらいは、政治と私たちの社会がどのような関係にあるのかを受講者に理解・意識してもらうことにあります。それゆえ、本講義では、政治の制度を多く扱うよりも、それらに密接に関わる原理や傾向、あるいは考え方に力点をおいていきます。</p>																			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜデモクラシー（民主主義）は悪魔にもなりうるのか ・なぜ政治や権力が人間の社会に不可欠となるのか。 ・なぜ国によって政治体制が異なるのか。 ・受講者には、以上の3点の「答え」を相応に理解してもらえればと思う。 																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 本講義概要・展開方法・試験等</td> <td>9. 選挙と投票</td> </tr> <tr> <td>2. 政治とは何か</td> <td>10. 国際政治を理解するための基礎知識</td> </tr> <tr> <td>3. 権力とは何か・権威とは何か</td> <td>11. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (1)</td> </tr> <tr> <td>4. リーダーシップとカリスマ</td> <td>12. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (2)</td> </tr> <tr> <td>5. 政治意識と政治的無関心</td> <td>13. 地方自治体の選挙制度と実態</td> </tr> <tr> <td>6. マス・メディアと政治</td> <td>14. 流行歌の歌詞と性・政治の変容</td> </tr> <tr> <td>7. 民主主義</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 民主制と集団主義・個人主義</td> <td></td> </tr> </table>				1. 本講義概要・展開方法・試験等	9. 選挙と投票	2. 政治とは何か	10. 国際政治を理解するための基礎知識	3. 権力とは何か・権威とは何か	11. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (1)	4. リーダーシップとカリスマ	12. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (2)	5. 政治意識と政治的無関心	13. 地方自治体の選挙制度と実態	6. マス・メディアと政治	14. 流行歌の歌詞と性・政治の変容	7. 民主主義	15. まとめ	8. 民主制と集団主義・個人主義	
1. 本講義概要・展開方法・試験等	9. 選挙と投票																			
2. 政治とは何か	10. 国際政治を理解するための基礎知識																			
3. 権力とは何か・権威とは何か	11. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (1)																			
4. リーダーシップとカリスマ	12. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (2)																			
5. 政治意識と政治的無関心	13. 地方自治体の選挙制度と実態																			
6. マス・メディアと政治	14. 流行歌の歌詞と性・政治の変容																			
7. 民主主義	15. まとめ																			
8. 民主制と集団主義・個人主義																				
評価方法	出席を前提として、レポート（1回）と試験を平均して成績を算出。																			
教材・教科書	<p>教科書：伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め [第3版]』（有斐閣ブックス・1,995円）</p> <p>レポート課題図書：岡田憲治『はじめてのデモクラシー講義』（柏書房・1,680円）</p>																			
留意点	本講義は、文学部「政治と経済A」、社会福祉学部「政治学(前期分の範囲)」と内容は同じです。																			

社会福祉学支援科目（社会科学系列科目）

科目名	政治学(国際政治を含む)B		担当教員	西 東 克 介																
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード W22002																
概要	<p>[キーワード: 三権分立制、議院内閣制・大統領制、リーダーシップ、政治家の能力、黒人差別]</p> <p>「政治学 B」は、「政治学 A」を基礎編とすれば、応用編ともいえる。津軽や青森の政治や行政が、どのように国と結びつき、私たちの暮らしに影響を与えているのかを「制度」から考える。同様に、アメリカが黒人差別の問題をとおして、人権問題についてのアメリカの日本への影響を考える。</p>																			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・完全な答えはないが、未来を切り開く自分や周囲の「ミッション」と活動とは何かを考える。 ・受講者には、この「答え」をああでもない、こうでもないと考え続けてもらうことができればと思う。 																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 本講義概要・展開方法・試験等</td> <td>9. 政治家(議員・首長)の不可欠な能力</td> </tr> <tr> <td>2. 議院内閣制・大統領制とリーダーシップ</td> <td>10. 若い人や女性の政治への参加を考える</td> </tr> <tr> <td>3. 政党と我が国戦後政党史</td> <td>11. 黒人産別の歴史と民主主義(1)</td> </tr> <tr> <td>4. 圧力団体とNPO・公益法人</td> <td>12. 黒人産別の歴史と民主主義(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 町(内)会の歴史と現状</td> <td>13. 黒人差別とオバマ大統領</td> </tr> <tr> <td>6. 弘前市議会から市町村議会を考える</td> <td>14. 身近な人々と経済・教育・福祉・政治の関係</td> </tr> <tr> <td>7. 青森県議会から都道府県議会を考える</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 「津軽選挙」とは何だったのか</td> <td></td> </tr> </table>				1. 本講義概要・展開方法・試験等	9. 政治家(議員・首長)の不可欠な能力	2. 議院内閣制・大統領制とリーダーシップ	10. 若い人や女性の政治への参加を考える	3. 政党と我が国戦後政党史	11. 黒人産別の歴史と民主主義(1)	4. 圧力団体とNPO・公益法人	12. 黒人産別の歴史と民主主義(2)	5. 町(内)会の歴史と現状	13. 黒人差別とオバマ大統領	6. 弘前市議会から市町村議会を考える	14. 身近な人々と経済・教育・福祉・政治の関係	7. 青森県議会から都道府県議会を考える	15. まとめ	8. 「津軽選挙」とは何だったのか	
1. 本講義概要・展開方法・試験等	9. 政治家(議員・首長)の不可欠な能力																			
2. 議院内閣制・大統領制とリーダーシップ	10. 若い人や女性の政治への参加を考える																			
3. 政党と我が国戦後政党史	11. 黒人産別の歴史と民主主義(1)																			
4. 圧力団体とNPO・公益法人	12. 黒人産別の歴史と民主主義(2)																			
5. 町(内)会の歴史と現状	13. 黒人差別とオバマ大統領																			
6. 弘前市議会から市町村議会を考える	14. 身近な人々と経済・教育・福祉・政治の関係																			
7. 青森県議会から都道府県議会を考える	15. まとめ																			
8. 「津軽選挙」とは何だったのか																				
評価方法	出席を前提として、レポート（1回）と試験を平均して成績を算出。																			
教材・教科書	教科書：伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め [第3版]』（有斐閣ブックス・1,995円）																			
留意点	本講義は、社会福祉学部「政治学(後期分の範囲)」と内容は同じです。																			

社会福祉学支援科目（社会科学系列科目）

科目名	行政学A		担当教員	西 東 克 介																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W22003																
概要	[キーワード：官僚制、行政国家化、機能と構造、目的／手段のヒエラルヒー] 高齢社会がさらに進み、福祉制度の充実・改革がなされている今日、行政国家的現象は一層緻密にそして社会全体に拡大していきます。行政国家化、あるいは福祉国家化について、官僚制から学んでいきます。																			
到達目標	・資本主義経済と民主主義の発展・成熟こそが、行政国家や福祉国家の現象を拡大・強化させていくことを理解する。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 本講義の概要・展開方法・試験等</td> <td>9. ジェネラリストとスペシャリスト（エキスパートとプロフェッショナル）</td> </tr> <tr> <td>2. 行政とは何か</td> <td>10. 第一線職員のジレンマを考える</td> </tr> <tr> <td>3. 官僚制とは何か</td> <td>11. 公社・独立行政法人問題</td> </tr> <tr> <td>4. 行政国家とは何か</td> <td>12. 「天下り」とは何か</td> </tr> <tr> <td>5. 小さな政府と大きな政府</td> <td>13. 組織とプロフェッショナルの関係</td> </tr> <tr> <td>6. 我が国の行政組織</td> <td>14. 行政に対する「素人（政治的）」統制の重要性と民主主義</td> </tr> <tr> <td>7. 我が国の国家公務員制度</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 我が国の地方公務員制度</td> <td></td> </tr> </table>				1. 本講義の概要・展開方法・試験等	9. ジェネラリストとスペシャリスト（エキスパートとプロフェッショナル）	2. 行政とは何か	10. 第一線職員のジレンマを考える	3. 官僚制とは何か	11. 公社・独立行政法人問題	4. 行政国家とは何か	12. 「天下り」とは何か	5. 小さな政府と大きな政府	13. 組織とプロフェッショナルの関係	6. 我が国の行政組織	14. 行政に対する「素人（政治的）」統制の重要性と民主主義	7. 我が国の国家公務員制度	15. まとめ	8. 我が国の地方公務員制度	
1. 本講義の概要・展開方法・試験等	9. ジェネラリストとスペシャリスト（エキスパートとプロフェッショナル）																			
2. 行政とは何か	10. 第一線職員のジレンマを考える																			
3. 官僚制とは何か	11. 公社・独立行政法人問題																			
4. 行政国家とは何か	12. 「天下り」とは何か																			
5. 小さな政府と大きな政府	13. 組織とプロフェッショナルの関係																			
6. 我が国の行政組織	14. 行政に対する「素人（政治的）」統制の重要性と民主主義																			
7. 我が国の国家公務員制度	15. まとめ																			
8. 我が国の地方公務員制度																				
評価方法	出席とレポート1回と試験1回。出席を前提にして、レポート1回と試験1回の成績を平均して算出。																			
教材・教科書	教科書：風間規男編『行政学の基礎』一藝社、2007年、2520円。																			
留意点	第1回目の講義には必ず出席すること。																			

社会福祉学支援科目（社会科学系列科目）

科目名	行政学B		担当教員	西 東 克 介																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード W22004																
概要	[キーワード：官僚制、行政国家化、機能と構造、目的／手段のヒエラルヒー] 前期で学んだ行政国家的現象は、一方では行政サービスを拡大させますが、他方では私たちの身近な生活まで行政を中心とした第三者に管理・干渉されていくことが不可避となります。こうしたジレンマの中で、行政組織とその活動が過去から現在までどのような状態にあり、未来はどうあるべきか（完全な解答はありませんが）について考えていきます。																			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・このことは行政組織における拡大・分業・専門性を進めていくが、他方で強い割拠主義や閉鎖性をもたらすことを理解する。 ・行政依存や制度依存は、私たち人間の、人間らしい側面や、自律性と自立性を弱めていく側面があることを理解する。 																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 我が国政府の政策過程（社会福祉関係諸団体と政策形成）</td> <td>9. 我が国地方自体の問題点</td> </tr> <tr> <td>2. 我が国政府の予算過程</td> <td>10. 「自立」・個人主義と官僚制</td> </tr> <tr> <td>3. 組織の分業と調整</td> <td>11. 個人主義と官僚制</td> </tr> <tr> <td>4. 行政統制と行政責任</td> <td>12. 社会福祉協議会と行政</td> </tr> <tr> <td>5. 説明責任・法的責任と応答責任</td> <td>13. 社会福祉協議会・行政とNPO・ボランティア</td> </tr> <tr> <td>6. 我が国地方自治体の仕組みと仕事</td> <td>14. 我が国地方自治体の福祉行政</td> </tr> <tr> <td>7. 我が国地方自治体の財政</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 「甘え」・集団主義と官僚制</td> <td></td> </tr> </table>				1. 我が国政府の政策過程（社会福祉関係諸団体と政策形成）	9. 我が国地方自体の問題点	2. 我が国政府の予算過程	10. 「自立」・個人主義と官僚制	3. 組織の分業と調整	11. 個人主義と官僚制	4. 行政統制と行政責任	12. 社会福祉協議会と行政	5. 説明責任・法的責任と応答責任	13. 社会福祉協議会・行政とNPO・ボランティア	6. 我が国地方自治体の仕組みと仕事	14. 我が国地方自治体の福祉行政	7. 我が国地方自治体の財政	15. まとめ	8. 「甘え」・集団主義と官僚制	
1. 我が国政府の政策過程（社会福祉関係諸団体と政策形成）	9. 我が国地方自体の問題点																			
2. 我が国政府の予算過程	10. 「自立」・個人主義と官僚制																			
3. 組織の分業と調整	11. 個人主義と官僚制																			
4. 行政統制と行政責任	12. 社会福祉協議会と行政																			
5. 説明責任・法的責任と応答責任	13. 社会福祉協議会・行政とNPO・ボランティア																			
6. 我が国地方自治体の仕組みと仕事	14. 我が国地方自治体の福祉行政																			
7. 我が国地方自治体の財政	15. まとめ																			
8. 「甘え」・集団主義と官僚制																				
評価方法	出席とレポート1回と試験1回。出席を前提にして、レポート1回と試験1回の成績を平均して算出。																			
教材・教科書	教科書：風間規男編『行政学の基礎』一藝社、2007年、2520円。（前期も同じ教科書）																			
留意点	第1回目の講義には必ず出席すること。																			

社会福祉学支援科目（社会科学系列科目）

科目名	経済学(国際経済を含む)A			担当教員	福田進治																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	W22005																
概要	[キーワード： 経済学入門、経済学史、経済思想] 近世以降のヨーロッパ経済の歴史と経済学の歴史を学び、著名な経済学者(アダム・スミス、リカード、マルクス、マーシャル、ケインズ)の議論を追いながら、経済学の基本的な考え方を身に付けます。																				
到達目標	経済学の基本的課題、基本的概念、基本的主張を理解することを目指します。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>9. 資本主義の歴史</td> </tr> <tr> <td>2. 重商主義の時代</td> <td>10. ヴィクトリア時代</td> </tr> <tr> <td>3. 市場メカニズム</td> <td>11. 市場均衡の理論</td> </tr> <tr> <td>4. 小さな国家</td> <td>12. 大恐慌の時代</td> </tr> <tr> <td>5. 産業革命の時代</td> <td>13. 失業の原因</td> </tr> <tr> <td>6. 国際貿易の原理</td> <td>14. 福祉国家の形成</td> </tr> <tr> <td>7. 階級闘争の時代</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 資本主義の本質</td> <td></td> </tr> </table>					1. ガイダンス	9. 資本主義の歴史	2. 重商主義の時代	10. ヴィクトリア時代	3. 市場メカニズム	11. 市場均衡の理論	4. 小さな国家	12. 大恐慌の時代	5. 産業革命の時代	13. 失業の原因	6. 国際貿易の原理	14. 福祉国家の形成	7. 階級闘争の時代	15. まとめ	8. 資本主義の本質	
1. ガイダンス	9. 資本主義の歴史																				
2. 重商主義の時代	10. ヴィクトリア時代																				
3. 市場メカニズム	11. 市場均衡の理論																				
4. 小さな国家	12. 大恐慌の時代																				
5. 産業革命の時代	13. 失業の原因																				
6. 国際貿易の原理	14. 福祉国家の形成																				
7. 階級闘争の時代	15. まとめ																				
8. 資本主義の本質																					
評価方法	出席状況・受講態度(50点)と期末試験(50点)によって評価します。																				
教材・教科書	(参考書) 八木紀一郎『経済思想』(第2版)日本経済新聞出版社、2011年																				
留意点																					

社会福祉学支援科目（社会科学系列科目）

科目名	経済学(国際経済を含む)B			担当教員	福田進治																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	W22006																
概要	[キーワード： 経済学入門、マクロ経済学、日本経済論] マクロ経済分析とマクロ経済政策の基礎を学び、マクロ経済学の視点から、現代の日本経済と経済政策をめぐる諸問題について考えます。																				
到達目標	マクロ経済学の基礎を身に付け、日本経済の現状を理解することを目指します。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>9. 投資の決定</td> </tr> <tr> <td>2. 日本経済の歴史</td> <td>10. 利子率の決定</td> </tr> <tr> <td>3. マクロ経済分析</td> <td>11. 貨幣市場の分析</td> </tr> <tr> <td>4. 失業の原因</td> <td>12. 金融政策の効果</td> </tr> <tr> <td>5. 総生産の決定</td> <td>13. 経済成長の戦略</td> </tr> <tr> <td>6. 景気循環の影響</td> <td>14. 今日の課題</td> </tr> <tr> <td>7. 財政政策の効果</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 貿易の効果</td> <td></td> </tr> </table>					1. ガイダンス	9. 投資の決定	2. 日本経済の歴史	10. 利子率の決定	3. マクロ経済分析	11. 貨幣市場の分析	4. 失業の原因	12. 金融政策の効果	5. 総生産の決定	13. 経済成長の戦略	6. 景気循環の影響	14. 今日の課題	7. 財政政策の効果	15. まとめ	8. 貿易の効果	
1. ガイダンス	9. 投資の決定																				
2. 日本経済の歴史	10. 利子率の決定																				
3. マクロ経済分析	11. 貨幣市場の分析																				
4. 失業の原因	12. 金融政策の効果																				
5. 総生産の決定	13. 経済成長の戦略																				
6. 景気循環の影響	14. 今日の課題																				
7. 財政政策の効果	15. まとめ																				
8. 貿易の効果																					
評価方法	出席状況・受講態度(50点)と期末試験(50点)によって評価します。																				
教材・教科書	(参考書) 中谷 巖『マクロ経済学入門』(第2版)日本経済新聞出版社、2007年																				
留意点																					

社会福祉学支援科目(社会科学系列科目)

科目名	法学(国際法を含む)A			担当教員	大野拓哉																
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	W22007																
概要	[キーワード: 法, 道徳, 習俗, 社会規範] 本講では、「法」という名の社会のルール(社会規範)について、他の社会規範とも比較しつつ、法規範自体の特色や存在形態などに関する概括的な理解の形成を目指す。																				
到達目標	自立した一個人として「法」と向き合い、「法」を用いていける基礎を築くことはもとより、将来、援助者として不利な立場の人々と関わる際に、それらの人々の権利や利益を適切に擁護し得る基礎としての知識や理解の形成を目指す。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 「法」と他の社会規範</td> <td>9. 法源とは何か</td> </tr> <tr> <td>2. 「法」と道徳</td> <td>10. 制定法</td> </tr> <tr> <td>3. 「法」と習俗</td> <td>11. 慣習法</td> </tr> <tr> <td>4. 法規範の特色</td> <td>12. 判例法</td> </tr> <tr> <td>5. 法規範の社会における役割</td> <td>13. 判例法の生成</td> </tr> <tr> <td>6. 法規範の構造</td> <td>14. 条理</td> </tr> <tr> <td>7. 法規範の分類①</td> <td>15. まとめと振り返り</td> </tr> <tr> <td>8. 法規範の分類②</td> <td></td> </tr> </table>					1. 「法」と他の社会規範	9. 法源とは何か	2. 「法」と道徳	10. 制定法	3. 「法」と習俗	11. 慣習法	4. 法規範の特色	12. 判例法	5. 法規範の社会における役割	13. 判例法の生成	6. 法規範の構造	14. 条理	7. 法規範の分類①	15. まとめと振り返り	8. 法規範の分類②	
1. 「法」と他の社会規範	9. 法源とは何か																				
2. 「法」と道徳	10. 制定法																				
3. 「法」と習俗	11. 慣習法																				
4. 法規範の特色	12. 判例法																				
5. 法規範の社会における役割	13. 判例法の生成																				
6. 法規範の構造	14. 条理																				
7. 法規範の分類①	15. まとめと振り返り																				
8. 法規範の分類②																					
評価方法	試験のみを評価の対象とする。																				
教材・教科書	五十嵐清『法学入門』悠々社																				
留意点	法律の条文等をその場で参照できるように六法類などを常に持参すること。																				

社会福祉学支援科目(社会科学系列科目)

科目名	法学(国際法を含む)B			担当教員	大野拓哉																
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	W22008																
概要	[キーワード: 法, 法の適用, 法の解釈] 本講では、「法」による社会的紛争の解決はどのようなメカニズムによるのか、法はどのように適用されるのか、法の解釈とはどのような行為であるのかといったことの意味を深める。																				
到達目標	自立した一個人として「法」と向き合い、「法」を用いていける基礎を築くことはもとより、将来、援助者として不利な立場の人々と関わる際に、それらの人々の権利や利益を適切に擁護し得る基礎としての知識や理解の形成を目指す。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 社会的紛争解決のメカニズム</td> <td>9. 法解釈の必要性</td> </tr> <tr> <td>2. 法適用のメカニズムと裁判</td> <td>10. 法解釈の方法①</td> </tr> <tr> <td>3. 裁判所の種類・構成・権限</td> <td>11. 法解釈の方法②</td> </tr> <tr> <td>4. 司法関係諸制度</td> <td>12. 法解釈の方法③</td> </tr> <tr> <td>5. 民事裁判とその特色</td> <td>13. 法解釈の技術</td> </tr> <tr> <td>6. 刑事裁判とその特色</td> <td>14. 法解釈の科学性</td> </tr> <tr> <td>7. 行政訴訟とその特色</td> <td>15. まとめと振り返り</td> </tr> <tr> <td>8. 法解釈という行為</td> <td></td> </tr> </table>					1. 社会的紛争解決のメカニズム	9. 法解釈の必要性	2. 法適用のメカニズムと裁判	10. 法解釈の方法①	3. 裁判所の種類・構成・権限	11. 法解釈の方法②	4. 司法関係諸制度	12. 法解釈の方法③	5. 民事裁判とその特色	13. 法解釈の技術	6. 刑事裁判とその特色	14. 法解釈の科学性	7. 行政訴訟とその特色	15. まとめと振り返り	8. 法解釈という行為	
1. 社会的紛争解決のメカニズム	9. 法解釈の必要性																				
2. 法適用のメカニズムと裁判	10. 法解釈の方法①																				
3. 裁判所の種類・構成・権限	11. 法解釈の方法②																				
4. 司法関係諸制度	12. 法解釈の方法③																				
5. 民事裁判とその特色	13. 法解釈の技術																				
6. 刑事裁判とその特色	14. 法解釈の科学性																				
7. 行政訴訟とその特色	15. まとめと振り返り																				
8. 法解釈という行為																					
評価方法	試験のみを評価の対象とする。																				
教材・教科書	五十嵐清『法学入門』悠々社																				
留意点	法律の条文等をその場で参照できるように六法類などを常に持参すること。																				

社会福祉学支援科目(社会科学系科目)

科目名	社会学A			担当教員	藤岡真之																
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	W22009																
概要	[キーワード: 社会システム、社会変動、人口、家族] マクロ社会の問題と同時に、人間にとって基礎的な関係である家族に関する問題などを取り上げる。																				
到達目標	社会学の基礎的な知識、概念を学ぶことにより、さまざまな水準の社会現象を、よりクリアーに、より深く理解できるようになること。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 社会学とは何か(1)</td> <td>9. 人口問題(1)—人口動向</td> </tr> <tr> <td>2. 社会学とは何か(2)</td> <td>10. 人口問題(2)—少子高齢化</td> </tr> <tr> <td>3. 社会システム(1)—社会システムの概念</td> <td>11. 生活の捉え方(1)—ライフスタイル</td> </tr> <tr> <td>4. 社会システム(2)—社会指標、社会階層</td> <td>12. 生活の捉え方(2)—生活の質</td> </tr> <tr> <td>5. 法と社会システム—社会にとっての法</td> <td>13. 家族(1)—家族の種類と機能</td> </tr> <tr> <td>6. 経済と社会システム—市場と市場の外部</td> <td>14. 家族(2)—現代家族の変化</td> </tr> <tr> <td>7. 社会変動(1)—近代化</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 社会変動(2)—産業化、グローバル化</td> <td></td> </tr> </table>					1. 社会学とは何か(1)	9. 人口問題(1)—人口動向	2. 社会学とは何か(2)	10. 人口問題(2)—少子高齢化	3. 社会システム(1)—社会システムの概念	11. 生活の捉え方(1)—ライフスタイル	4. 社会システム(2)—社会指標、社会階層	12. 生活の捉え方(2)—生活の質	5. 法と社会システム—社会にとっての法	13. 家族(1)—家族の種類と機能	6. 経済と社会システム—市場と市場の外部	14. 家族(2)—現代家族の変化	7. 社会変動(1)—近代化	15. まとめ	8. 社会変動(2)—産業化、グローバル化	
1. 社会学とは何か(1)	9. 人口問題(1)—人口動向																				
2. 社会学とは何か(2)	10. 人口問題(2)—少子高齢化																				
3. 社会システム(1)—社会システムの概念	11. 生活の捉え方(1)—ライフスタイル																				
4. 社会システム(2)—社会指標、社会階層	12. 生活の捉え方(2)—生活の質																				
5. 法と社会システム—社会にとっての法	13. 家族(1)—家族の種類と機能																				
6. 経済と社会システム—市場と市場の外部	14. 家族(2)—現代家族の変化																				
7. 社会変動(1)—近代化	15. まとめ																				
8. 社会変動(2)—産業化、グローバル化																					
評価方法	出席(20点)、試験(80点)																				
教材・教科書	教科書: 『新・社会福祉士養成講座 第3巻 社会理論と社会システム』中央法規																				
留意点																					

社会福祉学支援科目(社会科学系科目)

科目名	社会学B			担当教員	藤岡真之																
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	W22010																
概要	[キーワード: 地域、行為、役割、集団、社会問題] ミクロ社会の現象である行為、役割や、近年、社会福祉を考える上でも重要性を増している社会関係資本に関する問題などを取り上げる。																				
到達目標	社会学の基礎的な知識、概念を学ぶことにより、さまざまな水準の社会現象を、よりクリアーに、より深く理解できるようになること。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 地域(1)—地域の概念</td> <td>9. 社会的ジレンマ(1)—囚人のジレンマ</td> </tr> <tr> <td>2. 地域(2)—都市化、過疎化</td> <td>10. 社会的ジレンマ(2)—共有地の悲劇</td> </tr> <tr> <td>3. 社会的行為(1)—行為とは何か</td> <td>11. 社会関係資本・社会的連帯</td> </tr> <tr> <td>4. 社会的行為(2)—行為論の展開</td> <td>12. 社会問題(1)—逸脱行為</td> </tr> <tr> <td>5. 社会的役割(1)—役割とは何か</td> <td>13. 社会問題(2)—日本の社会問題</td> </tr> <tr> <td>6. 社会的役割(2)—役割と地位の関係</td> <td>14. 社会問題(3)—共生社会と権利</td> </tr> <tr> <td>7. 社会集団と組織(1)—集団・組織とは何か</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 社会集団と組織(2)—支配と協働</td> <td></td> </tr> </table>					1. 地域(1)—地域の概念	9. 社会的ジレンマ(1)—囚人のジレンマ	2. 地域(2)—都市化、過疎化	10. 社会的ジレンマ(2)—共有地の悲劇	3. 社会的行為(1)—行為とは何か	11. 社会関係資本・社会的連帯	4. 社会的行為(2)—行為論の展開	12. 社会問題(1)—逸脱行為	5. 社会的役割(1)—役割とは何か	13. 社会問題(2)—日本の社会問題	6. 社会的役割(2)—役割と地位の関係	14. 社会問題(3)—共生社会と権利	7. 社会集団と組織(1)—集団・組織とは何か	15. まとめ	8. 社会集団と組織(2)—支配と協働	
1. 地域(1)—地域の概念	9. 社会的ジレンマ(1)—囚人のジレンマ																				
2. 地域(2)—都市化、過疎化	10. 社会的ジレンマ(2)—共有地の悲劇																				
3. 社会的行為(1)—行為とは何か	11. 社会関係資本・社会的連帯																				
4. 社会的行為(2)—行為論の展開	12. 社会問題(1)—逸脱行為																				
5. 社会的役割(1)—役割とは何か	13. 社会問題(2)—日本の社会問題																				
6. 社会的役割(2)—役割と地位の関係	14. 社会問題(3)—共生社会と権利																				
7. 社会集団と組織(1)—集団・組織とは何か	15. まとめ																				
8. 社会集団と組織(2)—支配と協働																					
評価方法	出席(20点)、試験(80点)																				
教材・教科書	教科書: 『新・社会福祉士養成講座 第3巻 社会理論と社会システム』中央法規																				
留意点																					

社会福祉学支援科目(社会科学系列科目)

科目名	政治思想史 A		担当教員	村松 恵二																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W22011																
概要	[キーワード:自由主義 民主主義 保守主義] 近代の政治思想について、マキアヴェリやホブズ、ロック、ルソー、バークなどの重要な政治思想家の思想を検討しつつ、ルネッサンス以降の近代の政治思想(とりわけ自由主義と民主主義)について学びます。																			
到達目標	「規制緩和」と「小さい政府」が要求されている現在でも、国民生活のすべてにわたり、政治が影響を及ぼしているという点では、基本的な変化はありません。この講義では、福祉を考える上で、ますます重要になっている政治について、とりわけ政治理念、政治思想という観点から、学ぶことが目標です。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>9. ルソーの政治思想(2)</td> </tr> <tr> <td>2. マキアヴェリ——政治と道徳</td> <td>10. ルソーの政治思想(3)</td> </tr> <tr> <td>3. ホブズの政治思想(1)</td> <td>11. ヒュームの政治思想</td> </tr> <tr> <td>4. ホブズの政治思想(2)</td> <td>12. バークの政治思想(1)</td> </tr> <tr> <td>5. ロックの政治思想(1)</td> <td>13. バークの政治思想(2)</td> </tr> <tr> <td>6. ロックの政治思想(2)</td> <td>14. 質問と回答の時間</td> </tr> <tr> <td>7. ロックの政治思想(3)</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. ルソーの政治思想(1)</td> <td></td> </tr> </table>				1. ガイダンス	9. ルソーの政治思想(2)	2. マキアヴェリ——政治と道徳	10. ルソーの政治思想(3)	3. ホブズの政治思想(1)	11. ヒュームの政治思想	4. ホブズの政治思想(2)	12. バークの政治思想(1)	5. ロックの政治思想(1)	13. バークの政治思想(2)	6. ロックの政治思想(2)	14. 質問と回答の時間	7. ロックの政治思想(3)	15. まとめ	8. ルソーの政治思想(1)	
1. ガイダンス	9. ルソーの政治思想(2)																			
2. マキアヴェリ——政治と道徳	10. ルソーの政治思想(3)																			
3. ホブズの政治思想(1)	11. ヒュームの政治思想																			
4. ホブズの政治思想(2)	12. バークの政治思想(1)																			
5. ロックの政治思想(1)	13. バークの政治思想(2)																			
6. ロックの政治思想(2)	14. 質問と回答の時間																			
7. ロックの政治思想(3)	15. まとめ																			
8. ルソーの政治思想(1)																				
評価方法	試験を重視します。達意の日本語で答案を書くことが必要です。レポート提出等も含め、 <u>しっかり勉強してもらい、確実に単位を確保できる方法</u> を考えます。試験 60 点、レポート評価点 30 点、出席点 10 点です。																			
教材・教科書	テキストは使用しません。講義の際に、レジュメを配付します。																			
留意点	社会や政治のあり方に問題意識をもって(新聞やテレビニュースを見ながら)聴講してください。																			

社会福祉学支援科目(社会科学系列科目)

科目名	政治思想史 B		担当教員	村松 恵二																
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード W22012																
概要	[キーワード:自由民主主義 社会主義 ファシズム] J・S・ミルやマルクス、グリーン、シュミットなどの思想家を取りあげて、19世紀以降に展開される、自由民主主義、社会主義、さらにファシズムの政治思想について学びながら、自由民主主義の将来を考えます。																			
到達目標	「規制緩和」と「小さい政府」が要求されている現在でも、国民生活のすべてにわたり、政治が影響を及ぼしているという点では、基本的な変化はありません。この講義では、福祉を考える上で、ますます重要になっている政治について、とりわけ政治理念、政治思想という観点から、学ぶことが目標です。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ベンサム——自由主義の民主主義化</td> <td>9. グリーンの理想主義政治思想(2)</td> </tr> <tr> <td>2. J・S・ミルの自由論(1)</td> <td>10. 社会民主主義の政治思想(1)</td> </tr> <tr> <td>3. J・S・ミルの自由論(2)</td> <td>11. 社会民主主義の政治思想(2)</td> </tr> <tr> <td>4. 社会主義の政治思想(1)</td> <td>12. ファシズムの政治思想(1)</td> </tr> <tr> <td>5. 社会主義の政治思想(2)</td> <td>13. ファシズムの政治思想(2)</td> </tr> <tr> <td>6. 社会主義の政治思想(3)</td> <td>14. 質問と回答の時間</td> </tr> <tr> <td>7. スペンサーの社会進化論</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. グリーンの理想主義政治思想(1)</td> <td></td> </tr> </table>				1. ベンサム——自由主義の民主主義化	9. グリーンの理想主義政治思想(2)	2. J・S・ミルの自由論(1)	10. 社会民主主義の政治思想(1)	3. J・S・ミルの自由論(2)	11. 社会民主主義の政治思想(2)	4. 社会主義の政治思想(1)	12. ファシズムの政治思想(1)	5. 社会主義の政治思想(2)	13. ファシズムの政治思想(2)	6. 社会主義の政治思想(3)	14. 質問と回答の時間	7. スペンサーの社会進化論	15. まとめ	8. グリーンの理想主義政治思想(1)	
1. ベンサム——自由主義の民主主義化	9. グリーンの理想主義政治思想(2)																			
2. J・S・ミルの自由論(1)	10. 社会民主主義の政治思想(1)																			
3. J・S・ミルの自由論(2)	11. 社会民主主義の政治思想(2)																			
4. 社会主義の政治思想(1)	12. ファシズムの政治思想(1)																			
5. 社会主義の政治思想(2)	13. ファシズムの政治思想(2)																			
6. 社会主義の政治思想(3)	14. 質問と回答の時間																			
7. スペンサーの社会進化論	15. まとめ																			
8. グリーンの理想主義政治思想(1)																				
評価方法	試験を重視します。達意の日本語で答案を書くことが必要です。レポート提出等も含め、 <u>しっかり勉強してもらい、確実に単位を確保できる方法</u> を考えます。試験 60 点、レポート評価点 30 点、出席点 10 点です。																			
教材・教科書	テキストは使用しません。講義の際に、レジュメを配付します。																			
留意点	社会や政治のあり方に問題意識をもって(新聞やテレビニュースを見ながら)聴講してください。																			

社会福祉学支援科目(社会科学系科目)

科目名	社会科学特講 A		担当教員	遠藤 ゆり子
対象学年	W3年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W22013
概要	[キーワード:歴史・津軽・戦国時代・城] 戦国時代の津軽地方の様子を知るために、歴史地図を作成した上で、津軽地方の戦国時代について記した古文書や記録を読みこみ、理解する。また、戦国時代の城跡を実際に歩き、城を中心とする地域の歴史を考える。			
到達目標	* 古文書・記録の読解力を養う。 * 津軽地方の戦国社会について学習し、理解する。 * 歴史を学ぶことを通して、社会科学研究方法の基礎を身につける。			
授業の内容	1.オリエンテーション 2.戦国津軽の歴史地図① 3.戦国津軽の歴史地図② 4.戦国時代の津軽地方① 5.戦国時代の津軽地方② 6.戦国時代の津軽地方③ 7.戦国時代の津軽地方④ 8.津軽地方にみる戦国の城① 9.津軽地方にみる戦国の城② 10.津軽地方にみる戦国の城③ 11.津軽地方にみる戦国の城④ 12.津軽の城を歩く①(巡見) 13.津軽の城を歩く②(巡見) 14.津軽の城を歩く③(巡見) 15.まとめ			
評価方法	レポート(20点)、報告(20点)、小テスト(20点)、期末試験(40点)			
教材・教科書	適宜、プリントなどを配付し、参考文献を紹介する。			
留意点	* 報告のための予習を必要とする。 * 巡見先によっては、入館料や交通費等の費用がかかることがある。 * 巡見の詳細な日程は授業中に発表する。土曜日に実施することがある。			

社会福祉学支援科目(社会科学系科目)

科目名	社会科学特講 B		担当教員	遠藤 ゆり子
対象学年	W3年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード W22014
概要	[キーワード:歴史・津軽・弘前・江戸時代・災害] 弘前の歴史地図を作成し、江戸時代の津軽地方について学習する。その上で、歴史地図を持って弘前の街を歩き、現代の弘前に江戸時代の面影を捜す巡見を行う。また、江戸時代に津軽地方を襲った災害についても学び、将来起きるかもしれない災害への対応を検討する。			
到達目標	* 古文書・記録の読解力を養う。 * 津軽地方を事例に、江戸時代の社会について学習し、理解する。 * 歴史を学ぶことを通して、社会科学研究方法の基礎を身につける。			
授業の内容	1.オリエンテーション 2.江戸時代・弘前の歴史地図① 3.江戸時代・弘前の歴史地図② 4.江戸時代の津軽地方① 5.江戸時代の津軽地方② 6.江戸時代の津軽地方③ 7.弘前の街を歩く①(巡見) 8.弘前の街を歩く②(巡見) 9.江戸時代の弘前 10.江戸時代にみる津軽の災害① 11.江戸時代にみる津軽の災害② 12.江戸時代にみる津軽の災害③ 13.江戸時代にみる津軽の災害④ 14.江戸時代にみる津軽の災害⑤ 15.まとめ			
評価方法	レポート(20点)、報告(20点)、小テスト(20点)、期末試験(40点)			
教材・教科書	適宜、プリントなどを配付し、参考文献を紹介する。			
留意点	* 報告のための予習を必要とする。 * 巡見先によっては、入館料や交通費等の費用がかかることがある。 * 巡見の詳細な日程は授業中に発表する。土曜日に実施することがある。 * 社会科学特講Bを受講していることが望ましい。			

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	宗教学(キリスト教)A			担当教員	楊 尚 眞																		
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	W23001																		
概要	[キーワード: キリスト教の本質、キリストの生涯] キリスト教の本質を学び、理解することにおいて、その研究対象は、古代・中世・近世・現代のキリスト教の歴史、聖書・信条・キリスト教思想である。この科目授業において、イエス・キリストの生涯を中心にキリスト教の本質を学ぶ。																						
到達目標	キリスト教を学び、理解することを通して、本学の建学精神である「畏神愛人」という生き方を多面的に探求する。また、様々な宗教や文化を幅広く理解し、人間とは何なのかを一層深く理解する態度を養い、理解する主体である「自分」を内省する視点を獲得することを目標にしている。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 神の言葉である聖書</td> <td>10. 天国論と地獄論</td> </tr> <tr> <td>2. 神の子イエス・キリスト①</td> <td>11. 天使論と悪魔論</td> </tr> <tr> <td>3. 神の子イエス・キリスト②</td> <td>12. キリスト教人間論</td> </tr> <tr> <td>4. 神の子イエス・キリスト③</td> <td>13. キリスト教信仰</td> </tr> <tr> <td>5. 神の子イエス・キリスト④</td> <td>14. キリスト教礼拝</td> </tr> <tr> <td>6. キリストの神</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 神の霊である聖霊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 三位一体論</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. キリストの体なる教会</td> <td></td> </tr> </table>					1. 神の言葉である聖書	10. 天国論と地獄論	2. 神の子イエス・キリスト①	11. 天使論と悪魔論	3. 神の子イエス・キリスト②	12. キリスト教人間論	4. 神の子イエス・キリスト③	13. キリスト教信仰	5. 神の子イエス・キリスト④	14. キリスト教礼拝	6. キリストの神	15. まとめ	7. 神の霊である聖霊		8. 三位一体論		9. キリストの体なる教会	
1. 神の言葉である聖書	10. 天国論と地獄論																						
2. 神の子イエス・キリスト①	11. 天使論と悪魔論																						
3. 神の子イエス・キリスト②	12. キリスト教人間論																						
4. 神の子イエス・キリスト③	13. キリスト教信仰																						
5. 神の子イエス・キリスト④	14. キリスト教礼拝																						
6. キリストの神	15. まとめ																						
7. 神の霊である聖霊																							
8. 三位一体論																							
9. キリストの体なる教会																							
評価方法	1. 期末試験 (25点) 2. 講義出席(25点) 3. 礼拝出席(25点) 4. 礼拝感想文(25点)																						
教材・教科書	1. 聖書 2. キリスト教概説(楊尚眞著)																						
留意点	1. 私語禁止、2. 遅刻禁止 3. 質問奨励																						

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	宗教学(キリスト教)B			担当教員	楊 尚 眞																		
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	W23002																		
概要	[キーワード: 宗教の歴史、比較宗教] キリスト教の特殊性と価値を把握し、キリスト教に対する客観的な見解をもつために、そして、世界がグローバル化した今日、諸宗教間の対話と理解のため世界の諸宗教を学ぶ。																						
到達目標	宗教とは、キリスト教とは何なのか?特に、キリスト教という歴史的な宗教とは、私たちに對して何を主張しているのか。私たちのキリスト教理解・人間理解・宗教理解・自己理解を良く吟味し、深めていくことを目標にしている。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 宗教と信仰</td> <td>10. ヒンズー教</td> </tr> <tr> <td>2. キリスト教①</td> <td>11. 仏教①</td> </tr> <tr> <td>3. キリスト教②</td> <td>12. 仏教②</td> </tr> <tr> <td>4. キリスト教③</td> <td>13. 神道①</td> </tr> <tr> <td>5. キリスト教④</td> <td>14. 神道②</td> </tr> <tr> <td>6. ユダヤ教①</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. ユダヤ教②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. イスラム教①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. イスラム教②</td> <td></td> </tr> </table>					1. 宗教と信仰	10. ヒンズー教	2. キリスト教①	11. 仏教①	3. キリスト教②	12. 仏教②	4. キリスト教③	13. 神道①	5. キリスト教④	14. 神道②	6. ユダヤ教①	15. まとめ	7. ユダヤ教②		8. イスラム教①		9. イスラム教②	
1. 宗教と信仰	10. ヒンズー教																						
2. キリスト教①	11. 仏教①																						
3. キリスト教②	12. 仏教②																						
4. キリスト教③	13. 神道①																						
5. キリスト教④	14. 神道②																						
6. ユダヤ教①	15. まとめ																						
7. ユダヤ教②																							
8. イスラム教①																							
9. イスラム教②																							
評価方法	1. 期末試験 (25点) 2. 講義出席(25点) 3. 礼拝出席(25点) 4. 礼拝感想文(25点)																						
教材・教科書	1. 聖書 2. 世界宗教概説(楊尚眞著)																						
留意点	1. 私語禁止、2. 遅刻禁止 3. 質問奨励																						

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	哲学A			担当教員	笹森建英																		
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	W23003																		
概要	[キーワード:] 西洋哲学の形成、ギリシャ、ヘレニズム、キリスト教、中世の哲学、ルネサンス。																						
到達目標	西洋の思想を歴史的に学び、自己の思想の基礎、社会福祉を实践する上での思想根拠を確立する。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>10. プラトン</td> </tr> <tr> <td>2. 哲学とは</td> <td>11. アリストテレス</td> </tr> <tr> <td>3. ギリシャ哲学 ミレトス学とは</td> <td>12. ヘレニズム哲学</td> </tr> <tr> <td>4. アナクシメネス</td> <td>13. ヘレニズム哲学</td> </tr> <tr> <td>5. クセノハネス、ピタゴラス</td> <td>14. 中世哲学</td> </tr> <tr> <td>6. ヘラクレイトス、パルメニデス</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. ゼノン、パラドックス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 原子論哲学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. デモクリトス</td> <td></td> </tr> </table>					1. ガイダンス	10. プラトン	2. 哲学とは	11. アリストテレス	3. ギリシャ哲学 ミレトス学とは	12. ヘレニズム哲学	4. アナクシメネス	13. ヘレニズム哲学	5. クセノハネス、ピタゴラス	14. 中世哲学	6. ヘラクレイトス、パルメニデス	15. まとめ	7. ゼノン、パラドックス		8. 原子論哲学		9. デモクリトス	
1. ガイダンス	10. プラトン																						
2. 哲学とは	11. アリストテレス																						
3. ギリシャ哲学 ミレトス学とは	12. ヘレニズム哲学																						
4. アナクシメネス	13. ヘレニズム哲学																						
5. クセノハネス、ピタゴラス	14. 中世哲学																						
6. ヘラクレイトス、パルメニデス	15. まとめ																						
7. ゼノン、パラドックス																							
8. 原子論哲学																							
9. デモクリトス																							
評価方法	出席回数 15%、ノートの説き方 20%、感想文 5%、試験 60%。																						
教材・教科書	中村雄二郎他『思想史』東京大学出版会																						
留意点	決められた方式に従いノートをとる。新しい概念については各自が教科書以外の資料によって学習する。																						

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	哲学B			担当教員	笹森建英																		
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	W23004																		
概要	[キーワード:] 経験論、啓蒙思想、ドイツ観念論、功利主義、空想的社会主義、マルクス、ニーチェ、キルケゴール、実存哲学、20世紀のキリスト教神学。																						
到達目標	西洋の思想を歴史的に学び、自己の思想の基礎、社会福祉を实践する上での思想根拠を確立する。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ルネッサンス</td> <td>10. ニーチェ</td> </tr> <tr> <td>2. 宗教改革</td> <td>11. キルケゴール</td> </tr> <tr> <td>3. コペルニクス、バウアー</td> <td>12. フロイト、ベルグソン</td> </tr> <tr> <td>4. デカルト、パスカル</td> <td>13. 文化人類学の視点</td> </tr> <tr> <td>5. ホッブス、ロック</td> <td>14. 20世紀のプロテスタント神学</td> </tr> <tr> <td>6. フォイエルバッハ</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. マルクス、エンゲルス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. フォイエルバッハ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. ショーペンハウエル</td> <td></td> </tr> </table>					1. ルネッサンス	10. ニーチェ	2. 宗教改革	11. キルケゴール	3. コペルニクス、バウアー	12. フロイト、ベルグソン	4. デカルト、パスカル	13. 文化人類学の視点	5. ホッブス、ロック	14. 20世紀のプロテスタント神学	6. フォイエルバッハ	15. まとめ	7. マルクス、エンゲルス		8. フォイエルバッハ		9. ショーペンハウエル	
1. ルネッサンス	10. ニーチェ																						
2. 宗教改革	11. キルケゴール																						
3. コペルニクス、バウアー	12. フロイト、ベルグソン																						
4. デカルト、パスカル	13. 文化人類学の視点																						
5. ホッブス、ロック	14. 20世紀のプロテスタント神学																						
6. フォイエルバッハ	15. まとめ																						
7. マルクス、エンゲルス																							
8. フォイエルバッハ																							
9. ショーペンハウエル																							
評価方法	出席回数 15%、ノートの説き方 20%、感想文 5%、試験 60%。																						
教材・教科書	中村雄二郎他『思想史』東京大学出版会																						
留意点	決められた方式でノートをとる。新しい概念については教科書以外の資料によって学習する。																						

社会福祉学支援科目（総合科学系列科目）

科目名	歴史学A		担当教員	遠藤 ゆり子																
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W23005																
概要	[キーワード: 日本史・前近代・社会福祉・医療と看護] 日本の前近代社会を対象に、現代の社会福祉・医療・看護に相当する諸問題について検討する。																			
到達目標	* 前近代社会の歴史的特色を理解する。 * 前近代社会の社会福祉・医療・看護について学び、現代社会の課題を考える力を養う。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.オリエンテーション</td> <td>9.近世の飢饉④</td> </tr> <tr> <td>2.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史①</td> <td>10.前近代の医療・看護①</td> </tr> <tr> <td>3.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史②</td> <td>11.前近代の医療・看護②</td> </tr> <tr> <td>4.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史③</td> <td>12.前近代の医療・看護③</td> </tr> <tr> <td>5.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史④</td> <td>13.前近代の医療・看護④</td> </tr> <tr> <td>6.近世の飢饉①</td> <td>14.前近代の老人観</td> </tr> <tr> <td>7.近世の飢饉②</td> <td>15.まとめ</td> </tr> <tr> <td>8.近世の飢饉③</td> <td></td> </tr> </table>				1.オリエンテーション	9.近世の飢饉④	2.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史①	10.前近代の医療・看護①	3.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史②	11.前近代の医療・看護②	4.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史③	12.前近代の医療・看護③	5.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史④	13.前近代の医療・看護④	6.近世の飢饉①	14.前近代の老人観	7.近世の飢饉②	15.まとめ	8.近世の飢饉③	
1.オリエンテーション	9.近世の飢饉④																			
2.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史①	10.前近代の医療・看護①																			
3.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史②	11.前近代の医療・看護②																			
4.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史③	12.前近代の医療・看護③																			
5.飢饉・災害・戦争・疫病の歴史④	13.前近代の医療・看護④																			
6.近世の飢饉①	14.前近代の老人観																			
7.近世の飢饉②	15.まとめ																			
8.近世の飢饉③																				
評価方法	コメントカード(10点)、報告(20点)、小テスト(20点)、期末試験(50点)																			
教材・教科書	適宜、プリントなどを配付し、参考文献を紹介する。																			
留意点	* 報告のための予習を必要とする。																			

社会福祉学支援科目（総合科学系列科目）

科目名	歴史学B		担当教員	遠藤 ゆり子																
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード W23006																
概要	[キーワード: 日本史・前近代・社会福祉・看護・北方史] 日本の前近代社会を対象に、現代の社会福祉・医療・看護に相当する諸問題について検討する。また、近世・近代の北方史(北海道～北東北)の歴史についても学習する。																			
到達目標	* 前近代社会の社会福祉・医療・看護について学び、現代社会の課題を考える力を養う。 * 巡見を通して、津軽地方の歴史について学び、理解する。 * 近世から近代にかけての北方史について学び、理解する。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.オリエンテーション</td> <td>9.近世の捨て子②</td> </tr> <tr> <td>2.前近代の介護・看護①</td> <td>10.近世の捨て子③</td> </tr> <tr> <td>3.前近代の介護・看護②</td> <td>11.近世の捨て子④</td> </tr> <tr> <td>4.前近代の介護・看護③</td> <td>12.近世・近代の北方史①</td> </tr> <tr> <td>5.前近代の介護・看護④</td> <td>13.近世・近代の北方史②</td> </tr> <tr> <td>6.津軽地方の歴史①(巡見)</td> <td>14.近世・近代の北方史③</td> </tr> <tr> <td>7.津軽地方の歴史②(巡見)</td> <td>15.まとめ</td> </tr> <tr> <td>8.近世の捨て子①</td> <td></td> </tr> </table>				1.オリエンテーション	9.近世の捨て子②	2.前近代の介護・看護①	10.近世の捨て子③	3.前近代の介護・看護②	11.近世の捨て子④	4.前近代の介護・看護③	12.近世・近代の北方史①	5.前近代の介護・看護④	13.近世・近代の北方史②	6.津軽地方の歴史①(巡見)	14.近世・近代の北方史③	7.津軽地方の歴史②(巡見)	15.まとめ	8.近世の捨て子①	
1.オリエンテーション	9.近世の捨て子②																			
2.前近代の介護・看護①	10.近世の捨て子③																			
3.前近代の介護・看護②	11.近世の捨て子④																			
4.前近代の介護・看護③	12.近世・近代の北方史①																			
5.前近代の介護・看護④	13.近世・近代の北方史②																			
6.津軽地方の歴史①(巡見)	14.近世・近代の北方史③																			
7.津軽地方の歴史②(巡見)	15.まとめ																			
8.近世の捨て子①																				
評価方法	コメントカード・レポート(30点)、報告(10点)、小テスト(20点)、期末試験(40点)																			
教材・教科書	適宜、プリントなどを配付し、参考文献を紹介する。																			
留意点	* 歴史学Aを受講していることが望ましい。 * 報告のための予習を必要とする。 * 巡見先によっては、入館料や交通費等の費用がかかることがある。 * 巡見の詳細な日程は授業中に発表する。土曜日に実施することがある。																			

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	心理学A			担当教員	齋藤 繁																		
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	W23007																		
概要	[キーワード: こころの科学、認知、発達、対人関係、障害、支援技術] 人間の心理学的理解の歴史をたずね、心理学的研究課題と人間心理探求のために実証的方法を知り、心理学についての幅広い知識の習得と体系的理解を深める。 社会福祉の臨床においては、人間の成長・発達と障害、高齢者の理解と心理学的援助技術の習得が求められる。																						
到達目標	前期中は一般心理学的理解を深めることに重点をおく。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 心の科学</td> <td>10. 学習障害</td> </tr> <tr> <td>2. 心理学の歴史</td> <td>11. 知能と知能病理</td> </tr> <tr> <td>3. 動機づけ</td> <td>12. パーソナリティの心理</td> </tr> <tr> <td>4. 適応の心理</td> <td>13. 人格の病理</td> </tr> <tr> <td>5. 感動・情動</td> <td>14. 社会心理</td> </tr> <tr> <td>6. 認知</td> <td>15. 社会の病理</td> </tr> <tr> <td>7. 認知障害</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 記憶と記憶障害</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 学習</td> <td></td> </tr> </table>					1. 心の科学	10. 学習障害	2. 心理学の歴史	11. 知能と知能病理	3. 動機づけ	12. パーソナリティの心理	4. 適応の心理	13. 人格の病理	5. 感動・情動	14. 社会心理	6. 認知	15. 社会の病理	7. 認知障害		8. 記憶と記憶障害		9. 学習	
1. 心の科学	10. 学習障害																						
2. 心理学の歴史	11. 知能と知能病理																						
3. 動機づけ	12. パーソナリティの心理																						
4. 適応の心理	13. 人格の病理																						
5. 感動・情動	14. 社会心理																						
6. 認知	15. 社会の病理																						
7. 認知障害																							
8. 記憶と記憶障害																							
9. 学習																							
評価方法	出席20点、テスト80点とする。																						
教材・教科書	福祉士養成講座編集委員会編 新版 社会福祉士養成講座2 心理学理論と心理的支援 中央法規																						
留意点	心理実験や心理テストを行います。準備その他については適宜指示します。																						

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	心理学B			担当教員	齋藤 繁																		
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	W23008																		
概要	[キーワード: こころの科学、認知、発達、対人関係、障害、支援技術] 人間の心理学的理解の歴史をたずね、心理学的研究課題と人間心理探求のために実証的方法を知り、心理学についての幅広い知識の習得と体系的理解を深める。 社会福祉の臨床においては、人間の成長・発達と障害、高齢者の理解と心理学的援助技術の習得が求められる。																						
到達目標	後期は心理学の応用を果たすために福祉臨床に焦点を当てて、心身障害、対人関係障害の理解、心理学的援助技術の習得を図るようになる。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 発達の概念</td> <td>10. 心理診断</td> </tr> <tr> <td>2. 発達理論</td> <td>11. 心理療法と歴史</td> </tr> <tr> <td>3. 発達課題</td> <td>12. 心理療法の対象</td> </tr> <tr> <td>4. 高齢期の心理</td> <td>13. 心理療法の種類</td> </tr> <tr> <td>5. 情緒障害</td> <td>14. 事例研究</td> </tr> <tr> <td>6. 発達障害と学習障害</td> <td>15. 心理療法の効果</td> </tr> <tr> <td>7. 身体障害</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 心理学的支援技術</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 心理査定学的方法</td> <td></td> </tr> </table>					1. 発達の概念	10. 心理診断	2. 発達理論	11. 心理療法と歴史	3. 発達課題	12. 心理療法の対象	4. 高齢期の心理	13. 心理療法の種類	5. 情緒障害	14. 事例研究	6. 発達障害と学習障害	15. 心理療法の効果	7. 身体障害		8. 心理学的支援技術		9. 心理査定学的方法	
1. 発達の概念	10. 心理診断																						
2. 発達理論	11. 心理療法と歴史																						
3. 発達課題	12. 心理療法の対象																						
4. 高齢期の心理	13. 心理療法の種類																						
5. 情緒障害	14. 事例研究																						
6. 発達障害と学習障害	15. 心理療法の効果																						
7. 身体障害																							
8. 心理学的支援技術																							
9. 心理査定学的方法																							
評価方法	出席20点、テスト80点とする。																						
教材・教科書	福祉士養成講座編集委員会編 新版 社会福祉士養成講座2 心理学理論と心理的支援 中央法規																						
留意点	心理実験や心理テストを行います。準備その他については適宜指示します。																						

社会福祉学支援科目(総合科学系系列科目)

科目名	情報処理 A		担当教員	齋藤 昭		
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W23009		
概要	情報化社会がますます進展していく中で、コンピュータ発達の歴史と今日の状況を理解し、情報化社会の更なる発展に対しコンピュータを構成するハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの基本的な技術と知識を理解して、ますます発展するコンピュータの技術と知識に移行できるようになる。					
到達目標	1. コンピュータの歴史と今日の状況の技術と知識の状況を理解して、これからますます進展する情報化社会に基本的に対応できるようになる。 2. コンピュータのハードウェア・ソフトウェア・ネットワークを理解して、これからますます進歩する基本的な技術と知識に移行できるようになる。					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1. コンピュータの歴史とコンピュータの構成 2. データの符号化(数値・文字・音・画像) 3. 圧縮と復元 4. ソフトウェアの歴史と構成 5. データ構造とアルゴリズム 6. ソフトウェアの分類と知的所有権 7. オペレーティングシステム 8. アプリケーションソフトウェア 9. ネットワークのしくみ・プロトコル </td> <td style="vertical-align: top;"> 10. インターネットの歴史とサービス・インターネットの脆弱性とセキュリティ 11. ヒューマンインターフェース・ヒューマンインターフェースの歴史 12. 障害者に対するヒューマンインターフェースの情報交換会(1) 13. ユーザビリティとユニバーサルデザイン 14. 情報化社会と社会生活(ユビキタス社会の展望) 15. 情報化社会がもたらす影響と課題 </td> </tr> </table>				1. コンピュータの歴史とコンピュータの構成 2. データの符号化(数値・文字・音・画像) 3. 圧縮と復元 4. ソフトウェアの歴史と構成 5. データ構造とアルゴリズム 6. ソフトウェアの分類と知的所有権 7. オペレーティングシステム 8. アプリケーションソフトウェア 9. ネットワークのしくみ・プロトコル	10. インターネットの歴史とサービス・インターネットの脆弱性とセキュリティ 11. ヒューマンインターフェース・ヒューマンインターフェースの歴史 12. 障害者に対するヒューマンインターフェースの情報交換会(1) 13. ユーザビリティとユニバーサルデザイン 14. 情報化社会と社会生活(ユビキタス社会の展望) 15. 情報化社会がもたらす影響と課題
1. コンピュータの歴史とコンピュータの構成 2. データの符号化(数値・文字・音・画像) 3. 圧縮と復元 4. ソフトウェアの歴史と構成 5. データ構造とアルゴリズム 6. ソフトウェアの分類と知的所有権 7. オペレーティングシステム 8. アプリケーションソフトウェア 9. ネットワークのしくみ・プロトコル	10. インターネットの歴史とサービス・インターネットの脆弱性とセキュリティ 11. ヒューマンインターフェース・ヒューマンインターフェースの歴史 12. 障害者に対するヒューマンインターフェースの情報交換会(1) 13. ユーザビリティとユニバーサルデザイン 14. 情報化社会と社会生活(ユビキタス社会の展望) 15. 情報化社会がもたらす影響と課題					
評価方法	試験(70点)と出席状況(30点)を勘案して評価する。					
教材・教科書	プリント教材使用					
留意点	パソコンの実践操作の実習は含まれないので注意してください。					

社会福祉学支援科目(総合科学系系列科目)

科目名	情報処理 B		担当教員	齋藤 昭		
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード W23010		
概要	パソコンを使用して、データベースに関わる Access の基本的な処理と Excel の応用的な処理の知識と技術を習得する。					
到達目標	情報の加工・表現・整理・管理および情報の発信、特にデータベースに関わる実践的な操作ができるようになる。					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1. Access によるデータベースの作成・操作(1) 2. Access によるデータベースの作成・操作(2) 3. Access によるデータベースの作成・操作(3) 4. Access によるデータベースの作成・操作(4) 5. Access によるデータベースの作成・操作(5) 6. Access によるデータベースの作成・操作(6) 7. Access によるデータベースの作成・操作(7) 8. Access によるデータベースの作成・操作(8) 9. Access によるデータベースの作成・操作(9) 10. Excel によるデータベースの作成・操作(1) 11. Excel によるデータベースの作成・操作(2) 12. Excel によるデータベースの作成・操作(3) 13. Excel によるデータベースの作成・操作(4) 14. Excel によるデータベースの作成・操作(5) 15. Excel によるデータベースの作成・操作(6) </td> <td style="vertical-align: top;"> Access の概要 オブジェクトの構築のしかた テーブルの作成(1) テーブルの作成(2) フォームの作成 クエリの作成(1) クエリの作成(2) クエリの作成(3) レポートの作成 基本操作(1) 基本操作(2) 複数ワークシートの操作(1) 複数ワークシートの操作(2) ピボットテーブルの操作(1) ピボットテーブルの操作(2) </td> </tr> </table>				1. Access によるデータベースの作成・操作(1) 2. Access によるデータベースの作成・操作(2) 3. Access によるデータベースの作成・操作(3) 4. Access によるデータベースの作成・操作(4) 5. Access によるデータベースの作成・操作(5) 6. Access によるデータベースの作成・操作(6) 7. Access によるデータベースの作成・操作(7) 8. Access によるデータベースの作成・操作(8) 9. Access によるデータベースの作成・操作(9) 10. Excel によるデータベースの作成・操作(1) 11. Excel によるデータベースの作成・操作(2) 12. Excel によるデータベースの作成・操作(3) 13. Excel によるデータベースの作成・操作(4) 14. Excel によるデータベースの作成・操作(5) 15. Excel によるデータベースの作成・操作(6)	Access の概要 オブジェクトの構築のしかた テーブルの作成(1) テーブルの作成(2) フォームの作成 クエリの作成(1) クエリの作成(2) クエリの作成(3) レポートの作成 基本操作(1) 基本操作(2) 複数ワークシートの操作(1) 複数ワークシートの操作(2) ピボットテーブルの操作(1) ピボットテーブルの操作(2)
1. Access によるデータベースの作成・操作(1) 2. Access によるデータベースの作成・操作(2) 3. Access によるデータベースの作成・操作(3) 4. Access によるデータベースの作成・操作(4) 5. Access によるデータベースの作成・操作(5) 6. Access によるデータベースの作成・操作(6) 7. Access によるデータベースの作成・操作(7) 8. Access によるデータベースの作成・操作(8) 9. Access によるデータベースの作成・操作(9) 10. Excel によるデータベースの作成・操作(1) 11. Excel によるデータベースの作成・操作(2) 12. Excel によるデータベースの作成・操作(3) 13. Excel によるデータベースの作成・操作(4) 14. Excel によるデータベースの作成・操作(5) 15. Excel によるデータベースの作成・操作(6)	Access の概要 オブジェクトの構築のしかた テーブルの作成(1) テーブルの作成(2) フォームの作成 クエリの作成(1) クエリの作成(2) クエリの作成(3) レポートの作成 基本操作(1) 基本操作(2) 複数ワークシートの操作(1) 複数ワークシートの操作(2) ピボットテーブルの操作(1) ピボットテーブルの操作(2)					
評価方法	出席状況(50点)とそれぞれのテーマに基づく課題提出(50点)を勘案して評価する。					
教材・教科書	Access の基礎「弘前学院大学電子機器管理センター作成」 Excel の応用(データベース)「弘前学院大学電子機器管理センター作成」					
留意点	それぞれのテーマに基づいて、例題と課題に取り組みながら実践力を習得する授業なので、欠席すればただちに技術と知識等習得すべきことに影響する。欠席しないことが望まれる。					

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	スポーツ科学概論		担当教員	棟方達也																
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード W23011																
概要	スポーツは遊びです。しかしスポーツは現代社会に広く浸透し、文化的生活に影響を与える重要な存在であるばかりでなく、物質的にも精神的にも世界を動かす大きな要因となっています。スポーツ界の縮図とも言えるオリンピックを中心にスポーツを多角的に概観し、新たなスポーツ像を見出してみましょう。																			
到達目標	スポーツの存在を再認識しその面白さを発見する。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.ガイダンス及び導入</td> <td>9.スポーツと女性</td> </tr> <tr> <td>2.スポーツとは？スポーツ科学とは？</td> <td>10.スポーツと国際関係</td> </tr> <tr> <td>3.オリンピックという存在</td> <td>11.スポーツと自然</td> </tr> <tr> <td>4.古代オリンピック</td> <td>12.スポーツと数字（記録）</td> </tr> <tr> <td>5.近代オリンピックと日本</td> <td>13.ドーピング問題</td> </tr> <tr> <td>6.オリンピックとビジネス</td> <td>14.スポーツ時事ネタ</td> </tr> <tr> <td>7.映像資料に見るオリンピック 1</td> <td>15.まとめ</td> </tr> <tr> <td>8.映像資料に見るオリンピック 2</td> <td></td> </tr> </table>				1.ガイダンス及び導入	9.スポーツと女性	2.スポーツとは？スポーツ科学とは？	10.スポーツと国際関係	3.オリンピックという存在	11.スポーツと自然	4.古代オリンピック	12.スポーツと数字（記録）	5.近代オリンピックと日本	13.ドーピング問題	6.オリンピックとビジネス	14.スポーツ時事ネタ	7.映像資料に見るオリンピック 1	15.まとめ	8.映像資料に見るオリンピック 2	
1.ガイダンス及び導入	9.スポーツと女性																			
2.スポーツとは？スポーツ科学とは？	10.スポーツと国際関係																			
3.オリンピックという存在	11.スポーツと自然																			
4.古代オリンピック	12.スポーツと数字（記録）																			
5.近代オリンピックと日本	13.ドーピング問題																			
6.オリンピックとビジネス	14.スポーツ時事ネタ																			
7.映像資料に見るオリンピック 1	15.まとめ																			
8.映像資料に見るオリンピック 2																				
評価方法	試験:100点																			
教材・教科書	ppt.使用																			
留意点	教職免許のために確実に「体育(2単位)」を習得したい人は、実技を履修することをお勧めします。																			

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	スポーツ科学実技A(バスケットボール1)		担当教員	棟方達也																
対象学年	W1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード W23012																
概要	[種目の専門的指導を重視して1種目1単位とする種目別選択制を採用しています。] バスケットボールでは、最も基本的な個人の動きからゲームにおける攻防の展開までを論理的に理解しつつ実践を学びます。																			
到達目標	バスケットボールという球技を合理的に理解する。 チームの一人一人に必ず役割があることをふまえ、技術レベルに関わらずそれを実践しようと努力する。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.ガイダンス</td> <td>9.オフェンス1</td> </tr> <tr> <td>2.受講者レベル確認</td> <td>10.オフェンス2</td> </tr> <tr> <td>3.バスケットボールに必要な基本の動き</td> <td>11.オフェンス3</td> </tr> <tr> <td>4.ボールハンドリング</td> <td>12.オフェンス4</td> </tr> <tr> <td>5.ディフェンス1</td> <td>13.ゲーム</td> </tr> <tr> <td>6.ディフェンス2</td> <td>14.ゲーム</td> </tr> <tr> <td>7.ディフェンス3</td> <td>15.まとめ</td> </tr> <tr> <td>8.ディフェンス4</td> <td></td> </tr> </table>				1.ガイダンス	9.オフェンス1	2.受講者レベル確認	10.オフェンス2	3.バスケットボールに必要な基本の動き	11.オフェンス3	4.ボールハンドリング	12.オフェンス4	5.ディフェンス1	13.ゲーム	6.ディフェンス2	14.ゲーム	7.ディフェンス3	15.まとめ	8.ディフェンス4	
1.ガイダンス	9.オフェンス1																			
2.受講者レベル確認	10.オフェンス2																			
3.バスケットボールに必要な基本の動き	11.オフェンス3																			
4.ボールハンドリング	12.オフェンス4																			
5.ディフェンス1	13.ゲーム																			
6.ディフェンス2	14.ゲーム																			
7.ディフェンス3	15.まとめ																			
8.ディフェンス4																				
評価方法	出席点：80点 学科(ルール)テスト：20点																			
教材・教科書																				
留意点	3学部合同で実施 女子のみ受講可 定員32名 但し、受講者数が10名に満たない場合は開講せず。																			

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	スポーツ科学実技B(シーカヤック)		担当教員	棟方達也
対象学年	W1年	単位数・開講学期	1単位・前期集中	科目コード W23013
概要	<p>[種目の専門的指導を重視して1種目1単位とする種目別選択制を採用しています。また、アウトドア系種目を積極的に導入しているのが本学の特徴で、集中授業として開講されています。]</p> <p>シーカヤックとは、海で漕ぐカヤックのことです。シーカヤックツアーを中心とする海浜野外活動を体験学習します。サバイバルキャンプ形式でのハードでワイルドな2泊3日です。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シーカヤックの基本操作の習得 ・自然との望ましいつきあい方 ・野外での衣食住と共同生活への順応 			
授業の内容	<p>1.ガイダンス及びキャンプの基礎的事項の事前学習</p> <p>2.実習</p> <p>実習地 青森県内又は北海道塩谷海岸 ※受講者数による</p> <p>日程 夏休み中 3日~4日間</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上指導 ・実践練習 ・ショートツアー(1泊) ・キャンプサイト設営と撤収 ・燃料調達 ・食料、飲料水の管理 ・たき火の管理と野外炊事 ・各種海浜野外活動(各自) <p>※専門演習I(棟方ゼミ)指定科目</p>			
評価方法	実習参加状況90% レポート10%			
教材・教科書				
留意点	<p>定員16名 登録前に担当教員と面談し適正の確認を受けた人のみ受講可。虫が嫌いな人、野外で排泄できない人、食べ物の好き嫌いが激しい人には向きません。登録後、受講費内金として¥20,000徴収。(注:後日、受講をキャンセルしても内金は返金されません。)</p> <p>受講費総額目安¥45,000前後 看護学部と合同開講</p>			

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	スポーツ科学実技C(スノースポーツ)		担当教員	棟方達也
対象学年	W1年	単位数・開講学期	1単位・後期集中	科目コード W23014
概要	<p>[種目の専門的指導を重視して1種目1単位とする種目別選択制を採用しています。また、アウトドア系種目を積極的に導入しているのが本学の特徴で、集中講義として開講されています。]</p> <p>スノースポーツでは、スキーまたはスノーボードを選択し、各自のレベルに応じたグループ指導によりスキルアップを目指します。雪国の大学でスノースポーツを習得し、生涯スポーツとしてよりいっそう楽しめるようになりましょう。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で楽しい技術の習得 ・スノースポーツの楽しさの理解 			
授業の内容	<p>1.事前ガイダンス(12月)</p> <p>2.実習</p> <p>・実習地:安比高原スキー場</p> <p>・日程:原則として冬休み中 2泊3日 (降雪状況等により延期あり)</p> <p>◆専門演習I(棟方ゼミ)受講予定者は、2年次までに履修しておくことが望ましい。</p>			
評価方法	実習参加状況100%			
教材・教科書				
留意点	<p>履修登録後、受講費内金として¥20,000徴収。(注:キャンセルした場合、返金されません。)</p> <p>受講費総額(内金含む)目安¥40,000。3学部合同開講。</p> <p>受講者数次第では、実施形式の変更または開講しない場合もあります。</p>			

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	スポーツ科学実技D(バスケットボール2)		担当教員	棟方達也
対象学年	W1年	単位数・開講学期	1単位・前期集中	科目コード W23015
概要	[種目の専門的指導を重視して1種目1単位とする種目別選択制を採用しています。] バスケットボールでは、最も基本的な個人の動きからゲームにおける攻防の展開までを論理的に理解しつつ実践を学びます。			
到達目標	バスケットボールという球技を合理的に理解する。 チームの一人一人に必ず役割があることをふまえ、技術レベルに関わらずそれを実践しようと努力する。			
授業の内容	(1)ガイダンス (2)基礎知識 (3)実技 ①基本動作(フットワーク、ボールの扱い等) ②基本技術(パス、キャッチ、ラン、シュート) ③応用実技(Defense Offense Game) 日程:9月12日～14日(予定)			
評価方法	出席点:80点 学科(ルール)テスト:20点			
教材・教科書				
留意点	原則として男子のみ受講可 ただし、女子でも部活動経験等により男子の運動量についていける自信がある者は受講可。 3学部合同開講 ※定員:32名。ただし、受講者数が10名に満たない場合は開講せず。			

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	スポーツ科学実技E(スクーバダイビング)		担当教員	棟方達也
対象学年	W1年	単位数・開講学期	1単位・前期集中	科目コード W23016
概要	[種目の専門的指導を重視して1種目1単位とする種目別選択制を採用しています。また、アウトドア系種目を積極的に導入しているのが本学の特徴で、集中授業として開講されています。] この授業では、スクーバダイバー認定コースを受講することで、スクーバダイビングを通じての海浜(海洋)野外活動を学びます。ダイバーに認定されると「Cカード」という世界共通の認定カードが取得でき、さらにスキルアップして各種ダイバー資格を取得するための第一歩となります。 ※既にダイバー認定を受けている人で上位コース(アドバンス等)の受講を希望する人へも対応しますので相談して下さい。			
到達目標	NAUI(National Association of Underwater Instructors)スクーバダイバー認定			
授業の内容	NAUI スクーバダイバー認定講習プログラム 日程:夏休み中 3～4日間 実習地 青森県岡崎海岸または北海道美国町 ※受講者数による [内容] 学科講習(学科試験含む)及び海洋実技講習			
評価方法	スクーバダイバー認定:100点 それ以外の場合は、受講状況と結果による。			
教材・教科書	所定の教材セットを配布(実習費に含まれます)			
留意点	泳げること。登録前に必ず担当教員と面談し適性の確認を受けること。登録後、受講費内金として¥20,000徴収。(後日キャンセルしても返金されません。)受講費総額¥42,000～¥57,000前後(実習地による)			

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	スポーツ科学実技F(ファーストエイド)		担当教員	高橋俊哉																		
対象学年	W1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード W23017																		
概要	[キーワード:ファーストエイド、CPR、スポーツ障害] 緊急時の応急手当と事故防止に関する知識と技能を習得します。特にCPR(心肺蘇生法)については徹底的に練習します。																					
到達目標	適切な応急処置の知識と技能を身につけるとともに、スポーツ障害についても理解する。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.事故の現状とファーストエイドの必要性</td> <td>10.止血法、全身のけがの調べ方、病気の調べ方、搬送法</td> </tr> <tr> <td>2.救命・応急手当の基本、当初の観察と接触</td> <td>11.スポーツ障害の現状</td> </tr> <tr> <td>3.生の兆候の調査、調査の手当の流れ</td> <td>12.整形外科的スポーツ障害</td> </tr> <tr> <td>4.気道確保と回復体位、気道内異物の除去</td> <td>13.内科的スポーツ障害</td> </tr> <tr> <td>5.人工呼吸</td> <td>14.スポーツ障害の防止1</td> </tr> <tr> <td>6.CPR</td> <td>15.スポーツ障害の防止2</td> </tr> <tr> <td>7.乳児と幼児のCPR</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8.CPR実技試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9.AED.</td> <td></td> </tr> </table>				1.事故の現状とファーストエイドの必要性	10.止血法、全身のけがの調べ方、病気の調べ方、搬送法	2.救命・応急手当の基本、当初の観察と接触	11.スポーツ障害の現状	3.生の兆候の調査、調査の手当の流れ	12.整形外科的スポーツ障害	4.気道確保と回復体位、気道内異物の除去	13.内科的スポーツ障害	5.人工呼吸	14.スポーツ障害の防止1	6.CPR	15.スポーツ障害の防止2	7.乳児と幼児のCPR		8.CPR実技試験		9.AED.	
1.事故の現状とファーストエイドの必要性	10.止血法、全身のけがの調べ方、病気の調べ方、搬送法																					
2.救命・応急手当の基本、当初の観察と接触	11.スポーツ障害の現状																					
3.生の兆候の調査、調査の手当の流れ	12.整形外科的スポーツ障害																					
4.気道確保と回復体位、気道内異物の除去	13.内科的スポーツ障害																					
5.人工呼吸	14.スポーツ障害の防止1																					
6.CPR	15.スポーツ障害の防止2																					
7.乳児と幼児のCPR																						
8.CPR実技試験																						
9.AED.																						
評価方法	出席点30点、授業態度20点、実技試験50点により総合的に評価します。																					
教材・教科書																						
留意点																						

社会福祉学支援科目(総合科学系列科目)

科目名	スポーツ科学実技H(柔道)		担当教員	高橋俊哉																		
対象学年	W1年	単位数・開講学期	1単位・前期集中	科目コード W23019																		
概要	[キーワード:柔道、安全] 柔道の基本を楽しく学習します。 基本動作、受身、固め技、投げ技を学習します。試合、型、護身術についても体験します。																					
到達目標	受け身を確実にマスターし、安全に試合を楽しむことができる。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 柔道の歴史と意義、基本動作</td> <td>10. 約束稽古、縦四方固、肩固</td> </tr> <tr> <td>2. 後ろ受け身、大内刈、小内刈</td> <td>11. 乱取り、関節技</td> </tr> <tr> <td>3. 横受け身、送足払、出足払</td> <td>12. 投の形、絞め技</td> </tr> <tr> <td>4. 横転横受け身、膝車、支釣込足</td> <td>13. 審判法、寝技の練習法</td> </tr> <tr> <td>5. 大外刈、小外刈</td> <td>14. 試合</td> </tr> <tr> <td>6. 前回り受け身、大腰</td> <td>15. 護身術</td> </tr> <tr> <td>7. 前回り受け身、釣込腰、体落、袈裟固</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 背負投、払腰、内股、横四方固</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 立ち技の練習法、上四方固</td> <td></td> </tr> </table>				1. 柔道の歴史と意義、基本動作	10. 約束稽古、縦四方固、肩固	2. 後ろ受け身、大内刈、小内刈	11. 乱取り、関節技	3. 横受け身、送足払、出足払	12. 投の形、絞め技	4. 横転横受け身、膝車、支釣込足	13. 審判法、寝技の練習法	5. 大外刈、小外刈	14. 試合	6. 前回り受け身、大腰	15. 護身術	7. 前回り受け身、釣込腰、体落、袈裟固		8. 背負投、払腰、内股、横四方固		9. 立ち技の練習法、上四方固	
1. 柔道の歴史と意義、基本動作	10. 約束稽古、縦四方固、肩固																					
2. 後ろ受け身、大内刈、小内刈	11. 乱取り、関節技																					
3. 横受け身、送足払、出足払	12. 投の形、絞め技																					
4. 横転横受け身、膝車、支釣込足	13. 審判法、寝技の練習法																					
5. 大外刈、小外刈	14. 試合																					
6. 前回り受け身、大腰	15. 護身術																					
7. 前回り受け身、釣込腰、体落、袈裟固																						
8. 背負投、払腰、内股、横四方固																						
9. 立ち技の練習法、上四方固																						
評価方法	出席点30点、授業態度20点、実技試験50点により総合的に評価します。																					
教材・教科書																						
留意点	貸し出し用柔道着に限りがありますので、用意できる人は持参してください。																					

社会福祉学支援科目(総合科学系系列科目)

科目名	スポーツ科学実技I(エアロビクス)		担当教員	高橋佳子		
対象学年	W1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード W23020		
概要	[キーワード: 有酸素運動、エアロビクス] 健康づくりのためになぜ有酸素運動(エアロビクス)が必要なのかを理解し、安全に楽しく有酸素運動を行うための方法を、エアロビック ダンス エクササイズを通して学ぶ。					
到達目標	1.音楽に合わせて身体を動かすことが、「いかに楽しく、いかに気持ちよいか」体験することで、今後の運動習慣の動機付けができる。 2.簡単なステップを覚え、自分自身の運動習慣に活用できる。					
授業の内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1.エアロビクス理論と健康 2.エアロビック ダンス エクササイズ(基本ステップ) 3.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①) 4.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①) 5.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②) 6.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②) 7.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③) 8.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③) </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 9.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム④) 10.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム④) 11.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤) 12.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案①) 13.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤) 14.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案②) 15.エアロビック ダンス エクササイズ(まとめ、各自が考えた振り付けの発表) (※受講者の体力レベルに合わせて、プログラムを展開する。) </td> </tr> </table>				1.エアロビクス理論と健康 2.エアロビック ダンス エクササイズ(基本ステップ) 3.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①) 4.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①) 5.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②) 6.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②) 7.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③) 8.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③)	9.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム④) 10.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム④) 11.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤) 12.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案①) 13.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤) 14.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案②) 15.エアロビック ダンス エクササイズ(まとめ、各自が考えた振り付けの発表) (※受講者の体力レベルに合わせて、プログラムを展開する。)
1.エアロビクス理論と健康 2.エアロビック ダンス エクササイズ(基本ステップ) 3.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①) 4.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①) 5.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②) 6.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②) 7.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③) 8.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③)	9.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム④) 10.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム④) 11.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤) 12.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案①) 13.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤) 14.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案②) 15.エアロビック ダンス エクササイズ(まとめ、各自が考えた振り付けの発表) (※受講者の体力レベルに合わせて、プログラムを展開する。)					
評価方法	出席点 20 点、受講態度 20 点、実技の評価点 60 点により総合的に評価する。					
教材・教科書	特になし					
留意点	経験のない方も運動の苦手な方も安心して受講できます。運動の出来る服装・ズック着用、大判タオル・水またはお茶(500ml 以上)を持参の上参加してください。					

社会福祉学支援科目 (外国語系列科目)

科目名	英語 I			担当教員	奥野 忠徳
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・通年	科目コード	W24001
概要	<p>[キーワード:英語音声、日常会話、英語の歌]</p> <p>英語による日常会話の練習。特に、英語の音声の訓練に焦点を当てる。また、英語の歌を通しての音声訓練も行う。随時、英語に関するビデオも見る。</p>				
到達目標	<p>英語の発音を母語話者の発音に近づける。</p> <p>簡単な英語を聞き取れるようにする。</p> <p>日常会話の表現を学ぶ。</p>				
授業の内容	<p>1. 英語による自己紹介</p> <p>2. 仕事関係の表現</p> <p>3. 仕事関係の表現(続き)</p> <p>4. 自分の町の紹介</p> <p>5. 自分の町の紹介(続き)</p> <p>6. 家族の紹介</p> <p>7. 家族の紹介(続き)</p> <p>8. 復習テスト</p> <p>9. 趣味</p> <p>10. 趣味(続き)</p> <p>11. 買い物</p> <p>12. 買い物(続き)</p> <p>13. スポーツ</p> <p>14. 音楽</p> <p>15. 復習(まとめ)</p>		<p>16. 旅行</p> <p>17. 旅行(続き)</p> <p>18. 宿泊</p> <p>19. 宿泊(続き)</p> <p>20. レストラン</p> <p>21. レストラン(続き)</p> <p>22. 復習</p> <p>23. 道に迷った時</p> <p>24. 道に迷った時(続き)</p> <p>25. 人相を述べる</p> <p>26. デート</p> <p>27. デート(続き)</p> <p>28. 就職の面接</p> <p>29. 復習</p> <p>30. 総復習(まとめ)</p>		
評価方法	<p>毎週の小テスト(50点)、期末試験(50点)で評価する。</p>				
教材・教科書	<p>Dale Fuller and Linda Fuller (著) <i>Essential Listening 2</i></p> <p>N.Kumai and S. Timson (著) <i>Smash Hit Listening</i></p>				
留意点	<p>遅刻しないようにしてください。</p>				

社会福祉学支援科目 (外国語系列科目)

科目名	英語 I			担当教員	澤田真一
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・通年	科目コード	W24002
概要	<p>[キーワード: 読解、自己表現、自主性]</p> <p>英語の読解力を養うと共に、様々なテキストのテーマに関連した各種教材(ビデオ、CD、プリント)を用いることにより、内容の理解を深めます。映画の SCRIPT やスピーチ、ニュースやポエムなど、君たちが好きな教材を活用することを通して、世界を広げ、生きた英語の表現力を身につけていくことができるよう指導します。</p>				
到達目標	<p>1.まず英語を好きになる。</p> <p>2.英文の構造に注意を払いながら、正しく読めるようになる。</p> <p>3.英語を使って自己表現ができるようになる。</p>				
授業の内容	<p>1. 前期イントロダクション</p> <p>2. 英語を使ったコミュニケーション(1)</p> <p>3. 英語を使ったコミュニケーション(2)</p> <p>4. ビデオ(1)</p> <p>5. ビデオ・テキストの読解、ディスカッション</p> <p>6. 写真を用いた家族の紹介</p> <p>7. リーディング(ノン・フィクション)</p> <p>8. リーディング(ノン・フィクション)</p> <p>9. 英語を使ったコミュニケーション(3)</p> <p>10. ビデオ(2)</p> <p>11. ビデオ・テキストの解読、ディスカッション</p> <p>12. リーディング(ノン・フィクション)</p> <p>13. リーディング(ノン・フィクション)</p> <p>14. スピーチ</p> <p>15. まとめ</p>		<p>1. 後期イントロダクション</p> <p>2. 英語を使ったコミュニケーション(4)</p> <p>3. 英語を使ったコミュニケーション(5)</p> <p>4. ビデオ(3)</p> <p>5. ビデオ・テキストの読解、ディスカッション</p> <p>6. クリエイティブ・ライティング</p> <p>7. リーディング(フィクション)</p> <p>8. リーディング(フィクション)</p> <p>9. 英語を使ったコミュニケーション(6)</p> <p>10. ビデオ(4)</p> <p>11. ビデオ・テキストの解読、ディスカッション</p> <p>12. リーディング(ポエム)</p> <p>13. リーディング(ポエム)</p> <p>14. スピーチ</p> <p>15. まとめ</p>		
評価方法	<p>出席10% スピーチ10%</p> <p>パーティシパーション・ポイント 20%</p> <p>期末試験 60%</p>				
教材・教科書	<p>授業時にプリントを渡します。</p>				
留意点	<p>何よりも学生の自主性を重んじます。英語に自信のない学生は、participation point を貯めてください。</p>				

社会福祉学支援科目 (外国語系列科目)

科目名	ドイツ語			担当教員	田中岩男		
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・通年	科目コード	W24003		
概要	<p>[キーワード： 聞く、話す、書く]</p> <p>ドイツ語の基礎的な運用能力(聞く、話す、書く)を養う。</p> <p>ドイツ語の学習をとおして、ドイツ人のものの考え方やドイツの文化の一端に触れる。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ごく簡単な日常会話ができる程度のドイツ語コミュニケーション能力の養成 ・基礎的なドイツ語文法の修得 						
授業の内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベット 2. つづりと発音(1) 3. つづりと発音(2) 4. 簡単な挨拶 5. 動物の現在人称変化(1) 6. 動物の現在人称変化(2) 7. 疑問文と答え方 8. 名詞の性 9. 定冠詞と名詞の格変化 10. コーヒーが一杯ほしい／不定冠詞 11. コーヒーが一杯ほしい／所有冠詞 12. こちらがザビーネです／不規則動詞 13. 何を注文する？／不規則動詞(2) 14. 復習とコミュニケーション演習 15. まとめ </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <ol style="list-style-type: none"> 16. 市庁舎へはどう行きますか？／前置詞 17. 市庁舎へはどう行きますか？／数詞 18. 話法の助動詞(1) 19. 話法の助動詞(2) 20. 列車は何時に発車しますか？ 21. 時刻の読み方 22. 形容詞の格変化 23. 音楽に興味がありますか？ 24. とてもよかった！／動詞の3基本形 25. 動詞の過去 26. 動詞の過去分詞 27. 現在完了 28. 補足事項 29. 復習とコミュニケーション演習 30. まとめ </td> </tr> </table>					<ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベット 2. つづりと発音(1) 3. つづりと発音(2) 4. 簡単な挨拶 5. 動物の現在人称変化(1) 6. 動物の現在人称変化(2) 7. 疑問文と答え方 8. 名詞の性 9. 定冠詞と名詞の格変化 10. コーヒーが一杯ほしい／不定冠詞 11. コーヒーが一杯ほしい／所有冠詞 12. こちらがザビーネです／不規則動詞 13. 何を注文する？／不規則動詞(2) 14. 復習とコミュニケーション演習 15. まとめ 	<ol style="list-style-type: none"> 16. 市庁舎へはどう行きますか？／前置詞 17. 市庁舎へはどう行きますか？／数詞 18. 話法の助動詞(1) 19. 話法の助動詞(2) 20. 列車は何時に発車しますか？ 21. 時刻の読み方 22. 形容詞の格変化 23. 音楽に興味がありますか？ 24. とてもよかった！／動詞の3基本形 25. 動詞の過去 26. 動詞の過去分詞 27. 現在完了 28. 補足事項 29. 復習とコミュニケーション演習 30. まとめ
<ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベット 2. つづりと発音(1) 3. つづりと発音(2) 4. 簡単な挨拶 5. 動物の現在人称変化(1) 6. 動物の現在人称変化(2) 7. 疑問文と答え方 8. 名詞の性 9. 定冠詞と名詞の格変化 10. コーヒーが一杯ほしい／不定冠詞 11. コーヒーが一杯ほしい／所有冠詞 12. こちらがザビーネです／不規則動詞 13. 何を注文する？／不規則動詞(2) 14. 復習とコミュニケーション演習 15. まとめ 	<ol style="list-style-type: none"> 16. 市庁舎へはどう行きますか？／前置詞 17. 市庁舎へはどう行きますか？／数詞 18. 話法の助動詞(1) 19. 話法の助動詞(2) 20. 列車は何時に発車しますか？ 21. 時刻の読み方 22. 形容詞の格変化 23. 音楽に興味がありますか？ 24. とてもよかった！／動詞の3基本形 25. 動詞の過去 26. 動詞の過去分詞 27. 現在完了 28. 補足事項 29. 復習とコミュニケーション演習 30. まとめ 						
評価方法	<p>出席状況・授業態度・試験を総合的に評価します。</p> <p>(平常点(出席点を含む) : 50% 試験 : 50%)</p>						
教材・教科書	<p>「ドイツ語インフォメーション neu2」(朝日出版社)を教科書として使います。</p> <p>「やさしい! ドイツ語の学習辞典」(同学社)を推薦します。</p>						
留意点	<p>楽しみながら、新しいことに挑戦するつもりで積極的に参加してください。</p>						

社会福祉学支援科目 (外国語系列科目)

科目名	ドイツ語			担当教員	田中寿子		
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・通年	科目コード	W24004		
概要	<p>[キーワード:]</p> <p>1)基礎的文法を学習しながら、日常的なコミュニケーションに必要な、簡単なドイツ語を学びます。聞く・読む・練習することにより、実践的なドイツ語力をつけます。</p> <p>2)映像を観ながら、ドイツ語圏の文化・人々・国々に対する理解を深めます。</p>						
到達目標	<p>・ドイツ語の総合力を高めます。</p> <p>・ドイツ語圏の文化を理解します。</p>						
授業の内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>1.授業ガイダンス、発声練習</p> <p>2.挨拶や数詞を学びながら発声練習</p> <p>3.一課(動詞(1)語順(1)自己紹介)①</p> <p>4.一課(動詞(1)語順(1)自己紹介)②</p> <p>5.一課(動詞(1)語順(1)自己紹介)③</p> <p>6.二課(動詞(2)語順(2)友人紹介)①</p> <p>7.二課(動詞(2)語順(2)友人紹介)②</p> <p>8.三課(名詞と冠詞、道を尋ねる)①</p> <p>9.三課(名詞と冠詞、道を尋ねる)②</p> <p>10.四課(冠詞、代名詞、前置詞、買い物をする)①</p> <p>11.四課(冠詞、代名詞、前置詞、買い物をする)②</p> <p>12.五課(話法の助動詞、食に関する表現)①</p> <p>13.五課(話法の助動詞、食に関する表現)②</p> <p>14.まとめと総復習①</p> <p>15.まとめと総復習②</p> </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>16.前期の総復習</p> <p>17.六課(分離動詞、接続詞、予定を尋ねる表現)①</p> <p>18.六課(分離動詞、接続詞、予定を尋ねる表現)②</p> <p>19.六課(分離動詞、接続詞、予定を尋ねる表現)③</p> <p>20.七課(再帰動詞、再帰代名詞、時刻を尋ねる)①</p> <p>21.七課(再帰動詞、再帰代名詞、時刻を尋ねる)②</p> <p>22.七課(再帰動詞、再帰代名詞、時刻を尋ねる)③</p> <p>23.八課(過去形、現在完了形、過去の表現)①</p> <p>24.八課(過去形、現在完了形、過去の表現)②</p> <p>25.八課(過去形、現在完了形、過去の表現)③</p> <p>26.九課(受動態の基礎)</p> <p>27.九課(関係代名詞の基礎)</p> <p>28.十課(形容詞の基礎)</p> <p>29.六課から十課のまとめと総復習①</p> <p>30.六課から十課のまとめと総復習②</p> </td> </tr> </table>					<p>1.授業ガイダンス、発声練習</p> <p>2.挨拶や数詞を学びながら発声練習</p> <p>3.一課(動詞(1)語順(1)自己紹介)①</p> <p>4.一課(動詞(1)語順(1)自己紹介)②</p> <p>5.一課(動詞(1)語順(1)自己紹介)③</p> <p>6.二課(動詞(2)語順(2)友人紹介)①</p> <p>7.二課(動詞(2)語順(2)友人紹介)②</p> <p>8.三課(名詞と冠詞、道を尋ねる)①</p> <p>9.三課(名詞と冠詞、道を尋ねる)②</p> <p>10.四課(冠詞、代名詞、前置詞、買い物をする)①</p> <p>11.四課(冠詞、代名詞、前置詞、買い物をする)②</p> <p>12.五課(話法の助動詞、食に関する表現)①</p> <p>13.五課(話法の助動詞、食に関する表現)②</p> <p>14.まとめと総復習①</p> <p>15.まとめと総復習②</p>	<p>16.前期の総復習</p> <p>17.六課(分離動詞、接続詞、予定を尋ねる表現)①</p> <p>18.六課(分離動詞、接続詞、予定を尋ねる表現)②</p> <p>19.六課(分離動詞、接続詞、予定を尋ねる表現)③</p> <p>20.七課(再帰動詞、再帰代名詞、時刻を尋ねる)①</p> <p>21.七課(再帰動詞、再帰代名詞、時刻を尋ねる)②</p> <p>22.七課(再帰動詞、再帰代名詞、時刻を尋ねる)③</p> <p>23.八課(過去形、現在完了形、過去の表現)①</p> <p>24.八課(過去形、現在完了形、過去の表現)②</p> <p>25.八課(過去形、現在完了形、過去の表現)③</p> <p>26.九課(受動態の基礎)</p> <p>27.九課(関係代名詞の基礎)</p> <p>28.十課(形容詞の基礎)</p> <p>29.六課から十課のまとめと総復習①</p> <p>30.六課から十課のまとめと総復習②</p>
<p>1.授業ガイダンス、発声練習</p> <p>2.挨拶や数詞を学びながら発声練習</p> <p>3.一課(動詞(1)語順(1)自己紹介)①</p> <p>4.一課(動詞(1)語順(1)自己紹介)②</p> <p>5.一課(動詞(1)語順(1)自己紹介)③</p> <p>6.二課(動詞(2)語順(2)友人紹介)①</p> <p>7.二課(動詞(2)語順(2)友人紹介)②</p> <p>8.三課(名詞と冠詞、道を尋ねる)①</p> <p>9.三課(名詞と冠詞、道を尋ねる)②</p> <p>10.四課(冠詞、代名詞、前置詞、買い物をする)①</p> <p>11.四課(冠詞、代名詞、前置詞、買い物をする)②</p> <p>12.五課(話法の助動詞、食に関する表現)①</p> <p>13.五課(話法の助動詞、食に関する表現)②</p> <p>14.まとめと総復習①</p> <p>15.まとめと総復習②</p>	<p>16.前期の総復習</p> <p>17.六課(分離動詞、接続詞、予定を尋ねる表現)①</p> <p>18.六課(分離動詞、接続詞、予定を尋ねる表現)②</p> <p>19.六課(分離動詞、接続詞、予定を尋ねる表現)③</p> <p>20.七課(再帰動詞、再帰代名詞、時刻を尋ねる)①</p> <p>21.七課(再帰動詞、再帰代名詞、時刻を尋ねる)②</p> <p>22.七課(再帰動詞、再帰代名詞、時刻を尋ねる)③</p> <p>23.八課(過去形、現在完了形、過去の表現)①</p> <p>24.八課(過去形、現在完了形、過去の表現)②</p> <p>25.八課(過去形、現在完了形、過去の表現)③</p> <p>26.九課(受動態の基礎)</p> <p>27.九課(関係代名詞の基礎)</p> <p>28.十課(形容詞の基礎)</p> <p>29.六課から十課のまとめと総復習①</p> <p>30.六課から十課のまとめと総復習②</p>						
評価方法	<p>試験 50 点</p> <p>授業への参加状況(平常点) 50 点</p>						
教材・教科書	<p>テキスト:ゲーテ・ライゼ！(新訂増補版)(郁文堂)</p> <p>辞書は「やさしい！ドイツ語の学習辞典」(同学社)</p>						
留意点	<p>出席重視。積極的な授業参加を求めます。</p>						

社会福祉学支援科目 (外国語系列科目)

科目名	フランス語			担当教員	松山和子		
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・通年	科目コード	W24005		
概要	<p>[キーワード: フランス語で話そう!]</p> <p>テキストの例文を参考にクラスメートとフランス語で話をしながら、自然な形でフランス語の基礎を学びます。また、相手に自分の気持ちを伝えたり、相手の話すことを理解するために必要な、対話のためのテクニック(最小限の語彙・表現を最大限に運用する力)を身につけます。</p>						
到達目標	フランス語で簡単な日常会話ができるようになる!						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. フランス語のアルファベット 2. 知り合いになる 3. 挨拶をする 4. 文字と発音の規則・数字 (0~20) 5. 自己紹介 6. 値段を聞く 7. 国籍をたずねる 8. 話せる言語 9. 日付(誕生日や祭日)の言い方 10. 好み 11. 好き嫌いの程度 12. 趣味 13. 好きなアイドル 14. 職業 15. 前期(テキスト第1~7課)のまとめ </td> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 16. 人の特徴 17. 動物の特徴 18. 持ち物 19. 顔の特徴 20. 物・洋服・色 21. 年齢の言い方 22. 家族について 23. おなかがすいた・のどがかわいた 24. 医者に行く 25. 数字(21~60)・時刻 26. 時間割 27. 好きなTV番組の曜日・定休日 28. 予定について 29. 天気・数字(61~100) 30. 後期(テキスト第8~16課)のまとめ </td> </tr> </table>					<ol style="list-style-type: none"> 1. フランス語のアルファベット 2. 知り合いになる 3. 挨拶をする 4. 文字と発音の規則・数字 (0~20) 5. 自己紹介 6. 値段を聞く 7. 国籍をたずねる 8. 話せる言語 9. 日付(誕生日や祭日)の言い方 10. 好み 11. 好き嫌いの程度 12. 趣味 13. 好きなアイドル 14. 職業 15. 前期(テキスト第1~7課)のまとめ 	<ol style="list-style-type: none"> 16. 人の特徴 17. 動物の特徴 18. 持ち物 19. 顔の特徴 20. 物・洋服・色 21. 年齢の言い方 22. 家族について 23. おなかがすいた・のどがかわいた 24. 医者に行く 25. 数字(21~60)・時刻 26. 時間割 27. 好きなTV番組の曜日・定休日 28. 予定について 29. 天気・数字(61~100) 30. 後期(テキスト第8~16課)のまとめ
<ol style="list-style-type: none"> 1. フランス語のアルファベット 2. 知り合いになる 3. 挨拶をする 4. 文字と発音の規則・数字 (0~20) 5. 自己紹介 6. 値段を聞く 7. 国籍をたずねる 8. 話せる言語 9. 日付(誕生日や祭日)の言い方 10. 好み 11. 好き嫌いの程度 12. 趣味 13. 好きなアイドル 14. 職業 15. 前期(テキスト第1~7課)のまとめ 	<ol style="list-style-type: none"> 16. 人の特徴 17. 動物の特徴 18. 持ち物 19. 顔の特徴 20. 物・洋服・色 21. 年齢の言い方 22. 家族について 23. おなかがすいた・のどがかわいた 24. 医者に行く 25. 数字(21~60)・時刻 26. 時間割 27. 好きなTV番組の曜日・定休日 28. 予定について 29. 天気・数字(61~100) 30. 後期(テキスト第8~16課)のまとめ 						
評価方法	出席点40点、課題(作文等)評価点20点、試験40点						
教材・教科書	『パタシュ I』 朝日出版社						
留意点	授業にただ出席するだけではなく、グループワークや出された課題にも積極的に取り組んでください。						

社会福祉学支援科目 (外国語系列科目)

科目名	フランス語			担当教員	工藤貴子
対象学年	W1年	単位数・開講学期	2単位・通年	科目コード	W24006
概要	<p>[キーワード: コミュニケーションに生かす文法]</p> <p>フランス語での会話表現を目標とする、もう一方の授業の助けになるよう、この授業では身に付けた表現に文法的な側面から説明を加え、幅広く応用できるようにします。</p>				
到達目標	<p>なによりもまず「難しい」「おっくう」といった初習外国語に対する不安や苦手意識が解消されることが大事です。その上で</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分や身の回りの人(もの)について、フランス語で紹介できる 2. 1.に必要な基本的なフランス語の文法や発音の規則が身につく ことを目指します。 				
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の名前を言う、アルファベ 2. 第三者の名前、アルファベでスペルを言う 3. 国籍を言う 4. 国籍の女性形の作り方 5. 動詞《être》の活用と使い方 6. 職業を言う 7. 住んでいるところを言う／《habiter》 8. 好きなものを言う／《aimer》 9. 第一群規則動詞のまとめ 10. 名詞の性と不定冠詞 11. 外見的特徴や性格を描写する 12. 形容詞の性の一致／形容詞の位置(原則) 13. 形容詞の数の一致／形容詞の位置(例外) 14. 疑問文の作り方 15. 前期まとめ 		<ol style="list-style-type: none"> 16. 持ち物を言う／《avoir》活用 17. 否定文の作り方、否定の《de》 18. 年齢を言う 19. 家族を紹介する／所有形容詞 20. 家族を紹介する／所有形容詞 21. 時刻を尋ねる・教える 22. 疑問形容詞「どんな〜?」 23. 天候を尋ねる・教える／非人称構文 24. 行き先を言う／動詞《aller》活用 25. 前置詞《à》と定冠詞の縮約 26. 動詞《venir》活用 27. 前置詞《de》と定冠詞の縮約 28. 動詞《prendre》を使った表現 29. 近い未来を言う／近接未来形 30. 後期まとめ 		
評価方法	<p>出席点 10点</p> <p>期末試験 80点</p> <p>適宜行う小テストまたは課題提出状況 10点</p>				
教材・教科書	<p><i>Avec ça? C'est tout!</i> 『これだけでフランス語』</p> <p>今関アン、加藤雅郁著</p> <p>駿河台出版社</p>				
留意点	<p>出来る限り、もう一方のフランス語の授業内容・進度に対応するよう配慮しますので、テキストを順番通り進むとは限りません。毎回出席するようにして、テキストのどこをやっているかを確認してください。</p>				

社会福祉学支援科目 (外国語系列科目)

科目名	英語Ⅱ			担当教員	川浪 亜弥子
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・通年	科目コード	W24007
概要	<p>[キーワード: Living English]</p> <p>毎回日常的なトピックを扱い、そこでよく使われる Vocabulary や Grammar に注目し、実際に声に出して練習していきながら生きた英語を学んでいきます。</p>				
到達目標	<p>日常のいろいろな場面において、英語で自分の言いたいことを臆せずに伝えられるようになることを目指します。</p>				
授業の内容	<p>1.Introduction</p> <p>2.Unit 1 It's a wonderful world!</p> <p>3.Unit 1 It's a wonderful world!</p> <p>4.Unit 2 Get happy!</p> <p>5.Unit 2 Get happy!</p> <p>6.Unit 2 Get happy!</p> <p>7.Unit 3 Telling tales</p> <p>8.Unit 3 Telling tales</p> <p>9.Unit 4 Doing the right thing</p> <p>10.Unit 4 Doing the right thing</p> <p>11.Unit 5 On the move</p> <p>12.Unit 5 On the move</p> <p>13.Unit 6 I just love it!</p> <p>14.Unit 6 I just love it!</p> <p>15.Review</p>		<p>16.Introduction</p> <p>17.Unit 7 The world of work</p> <p>18.Unit 7 The world of work</p> <p>19.Unit 8 Just imagine!</p> <p>20.Unit 8 Just imagine!</p> <p>21.Unit 9 Relationships</p> <p>22.Unit 9 Relationships</p> <p>23.Unit 9 Relationships</p> <p>24.Unit 10 Obsessions</p> <p>25.Unit 10 Obsessions</p> <p>26.Unit 11 Tell me about it!</p> <p>27.Unit 11 Tell me about it!</p> <p>28.Unit 12 Life's great events!</p> <p>29.Unit 12 Life's great events!</p> <p>30.Review</p>		
評価方法	<p>出席 25%、授業中のパフォーマンス 15%、テスト 60%</p>				
教材・教科書	<p><i>New Headway: Intermediate, The Third Edition (Oxford)</i></p>				
留意点	<p>授業中は積極的な態度が求められます。</p>				

社会福祉学支援科目 (外国語系列科目)

科目名	英語Ⅱ		担当教員	藤森千博	
対象学年	W2年	単位数・開講学期	2単位・通年	科目コード	W24008
概要	<p>[キーワード: 英文和訳は単語の置き換えではなく内容の言い換えである]</p> <p>さまざまなトピックの英文テキストを和訳を中心とした演習(和訳のほか英作文や要約、ディスカッションなどにもチャレンジしてもらう)を行いながら、「内容を把握する」とはどういうことかを理解する。</p>				
到達目標	<p>「英文の内容を把握する」とは「英単語をひとつひとつ日本語の単語に置き換える」だけでは不十分なことが多い。「つまりこの英文は何を伝えたいのか」を考えることこそが正確な内容把握の決め手となる。この授業では単なる逐語訳は評価の対象としない。正確な「内容の言い換え」ができるようになることを目標とする。</p>				
授業の内容	<p>1. イントロダクション</p> <p>2. 課題① - 1</p> <p>3. 課題① - 2</p> <p>4. 課題① - 3</p> <p>5. 課題② - 1</p> <p>6. 課題② - 2</p> <p>7. 課題② - 3</p> <p>8. 課題③ - 1</p> <p>9. 課題③ - 2</p> <p>10. 課題③ - 3</p> <p>11. 課題④ - 1</p> <p>12. 課題④ - 2</p> <p>13. 課題④ - 3</p> <p>14. 課題⑤ - 1</p> <p>15. 課題⑤ - 2</p>		<p>16. 課題⑤ - 3</p> <p>17. 課題⑥ - 1</p> <p>18. 課題⑥ - 2</p> <p>19. 課題⑥ - 3</p> <p>20. 課題⑦ - 1</p> <p>21. 課題⑦ - 2</p> <p>22. 課題⑦ - 3</p> <p>23. 課題⑧ - 1</p> <p>24. 課題⑧ - 2</p> <p>25. 課題⑧ - 3</p> <p>26. 課題⑨ - 1</p> <p>27. 課題⑨ - 2</p> <p>28. 課題⑨ - 3</p> <p>29. 課題⑩ - 1</p> <p>30. 課題⑩ - 2</p>		
評価方法	<p>毎回の課題への取り組みおよびその提出: 100%</p> <p><u>なお年間を通じて理由なく6回以上欠席した学生は評価の対象としない。</u></p>				
教材・教科書	<p>インターネットや雑誌などから時事トピックを適宜選択しプリントを作成して配布する。ちなみに2012年度の授業では、「働くことの意味」「嘘をつくことの是非」「現代の若者に期待すること」などを扱った。</p>				
留意点	<p>(1) 毎回和英・英和辞書を持参すること。</p> <p>(2) 第一回目の授業でオリエンテーションを行うので履修を予定する学生は必ず出席すること。</p>				

社会福祉学支援科目（外国語系列科目）

科目名	海外研修			担当教員	エドワード・フォーサイ
対象学年	W1～4年	単位数・開講学期	4単位・通年	科目コード	W24009
概要	[キーワード:]				
到達目標					
授業の内容	教室にて指示します。				
評価方法					
教材・教科書					
留意点					

